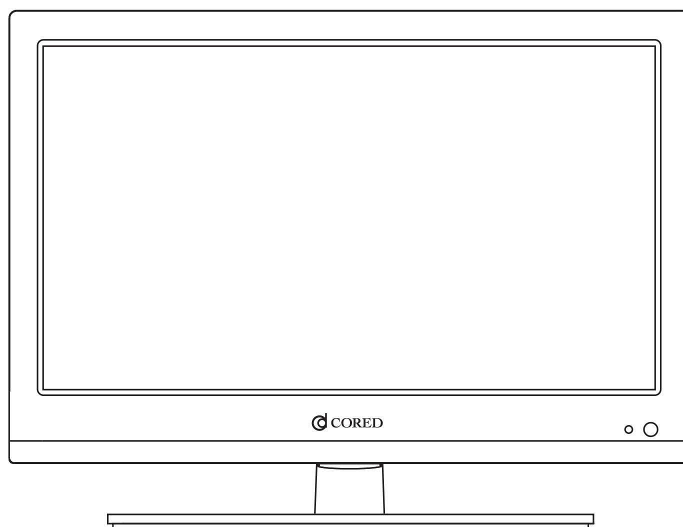


地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書



40型LEDバックライト
地上/BS/110度CS
デジタルハイビジョンテレビ
（CD-LED4031）



この度はCORED液晶テレビをお買上げ頂きましてありがとうございます。

■この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶テレビをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。

■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

もくじ

はじめに

液晶テレビをご使用になる前に下記の「安全上のご注意」、「使用上のご注意とお願い」を必ずよく読み、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本製品は安全に配慮して設計されています。しかし、全ての電気製品は誤った使い方をすると火災や感電などの原因となり、大変危険です。
本製品および付属品をご利用になる際は、事故を未然に防ぐため次の注意事項をよくご理解の上必ずお守りください。

警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
高圧注意を表します。	禁止を表します。
必ず指示に従います。	

注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。
接触禁止を表します。	分解・修理・改造禁止を表します。
コンセントの扱いに注意してください。	

警告

- 電源プラグをコンセントから抜くときに必ず電源プラグを持って抜いてください。濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 電源コードが損傷したり電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグの冷えたことを確認してコンセントから抜いてください。コードを抜くときはプラグを持ちながら行ってください。
- 雷が鳴り出したときは、本製品に触れないでください。誘導落雷により感電することがあります。
- 本製品の上に金属類、花瓶やコップなど水の入った容器を乗せないでください。火災・感電の原因となります。
- 本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、水分などが入ると、感電や火災の原因となります。
- 本製品を落としたとき、また落下物などで本製品キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き出してください。
- 本製品や電源コードの内部に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。
- 電源コードを延長したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものを乗せたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 通気孔（放射のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり、発火や怪我、感電の原因となることがあります。
- 裏ぶたを外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、触ると感電の原因になります。
- 下記の場合は、電源を切り電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。ご自身での修理は危険ですので、絶対にしないでください。
  - 落としたりして機器が破損した
  - 機器の中にものが入った
  - 熱器具に近づける
  - 液や煙、音、または異臭がでる
  - 機器を雨や湿気にさらした
  - 電源コードや電源プラグが破損した
  - 途中でつぎ足したりして加工する
  - トラブルシューティングで対応できない

安全上のご注意

⚠ 注 意

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

液晶パネルに衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 本製品をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

移動するときは、電源プラグ、外部との接続をはずしてください。

旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意とお願い

● デジタル放送のコピー制御について
本製品には附属のminiB-CASカードを必ず挿入してください。
デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、miniB-CASカードの機能を利用します。
挿入されないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
miniB-CASカードを挿入していただくことで、NHKも、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。

●お手入れについて
お手入れの際は、必ず本製品及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

◆ キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
・ベンジンやシンナーは使わないでください。
また、化学雑巾の使用は、注意書きに従ってください。
・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長時間接触させないでください。

◆ 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
・パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷つき、変色の原因となります。
・パネルの表面に水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
・パネルの汚れを拭き取る時は、ほこりの付いた布や化学雑巾などを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。
もし異常があるときは、すぐにお買い上げ店またはサービス/コールセンター(72ページに記載)にご相談ください。

● 液晶パネルのドット欠けについて
液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。
これは故障ではありません。

● 輸送について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加の恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

● 本製品を破棄するとき
本製品はリサイクル対象商品です。一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てないでください。破棄の際は、販売店か家電リサイクル取扱店にご相談ください。

● 本製品の温度について
本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

● 室内温度について
液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

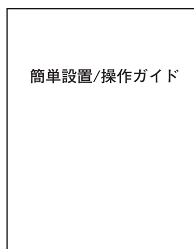
● コンピュータゲーム機と接続した場合
ガン（銃）タイプのコントローラーを使用するゲームなどは、本製品で使用できないことがあります。
詳しくは各ゲームおよびコントローラーの説明書をご覧ください。コンピュータゲーム機のコントローラーを使用される場合は、コントローラーの操作に対し、わずかに遅れて反応する場合がありますが、これは入力された信号が表示されるまでにデジタル処理による時間の遅れにより発生するためで、故障ではありません。
コンピュータゲームの種類・内容によっては、画面が欠ける場合があります。

付属品の確認

本製品の取り扱いになる前に、以下の物が全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損している場合は販売店、サービス/コールセンター（電話:0570-550-520）までご連絡ください。



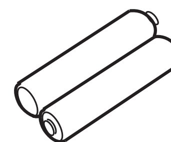
□ 取扱説明書（本書）



□ 簡単設置/操作ガイド



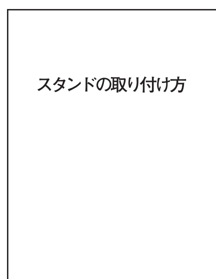
□ リモコン



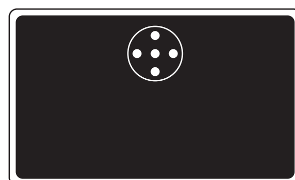
□ リモコン用乾電池2本
（単4型）



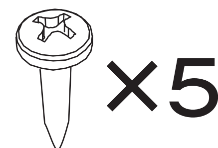
□ 保証書



□ スタンドの取り付け方



□ スタンド



□ スタンド取り付け用ネジ



□ miniB-CASカード

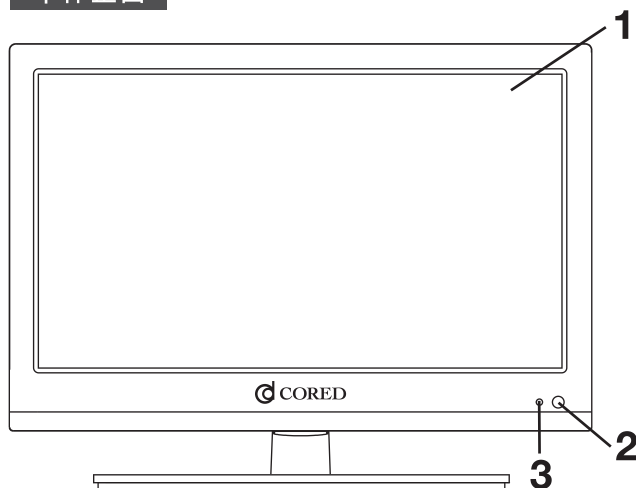
準 備

「準備」の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために必要なアンテナ接続方法、miniB-CASカード挿入方法、本製品の各部の名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

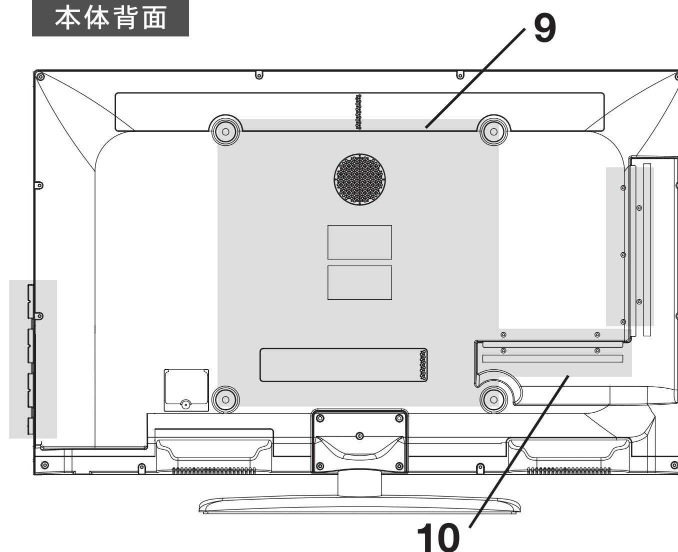
各部の名称（本体）

● 表示例として使用している表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

本体正面



本体背面



1 液晶パネル

2 リモコン受光部
リモコンをここに向けて操作してください。

3 電源表示ランプ
スタンバイ状態の時は赤色に点灯します。
電源が入ると緑色に点灯します。

4 音量ボタン（＋、ー）
音量を上げたり下げたりします。
メニュー設定時に項目の選択を行います。

5 選局ボタン（＋、ー）
設定されているチャンネル順にチャンネルを変えます。
メニュー設定時に項目の選択を行います。

6 メニューボタン
設定画面を表示します。

7 入力切換ボタン
テレビ放送の切換や外部機器入力の切換をします。

8 電源ボタン
テレビの電源を入れたり切ったりします。

9 マウント取付部

10 外部入力端子部
a. アンテナ入力（地デジ）
b. アンテナ入力（BS/CS）
c. PC/VGA入力
d. PC Audio入力
e. ビデオ入力
f. ヘッドホン入力
g. HDMI 3
h. USB

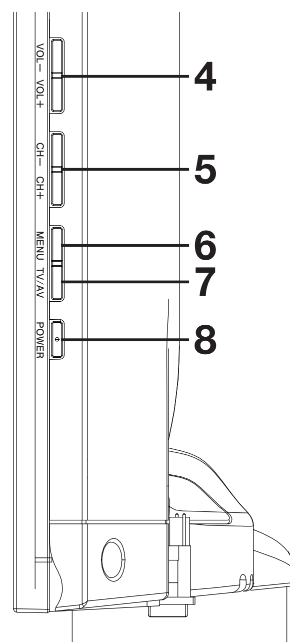
11 miniB-CASカード挿入口

12 LAN端子

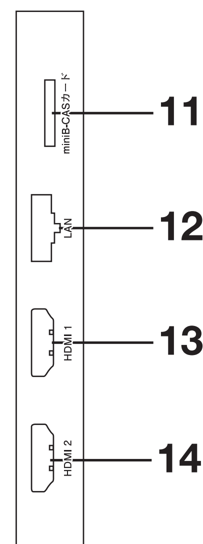
13 HDMI 1

14 HDMI 2

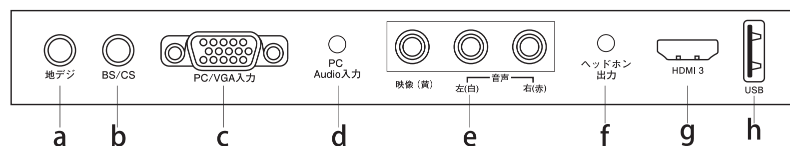
本体の左側面



本体の右側面



10
本体の背面下部



準備

各部の名称（リモコン）

1. 電源ボタン
テレビの電源をオン、オフに切り換えます。

2. 消音ボタン
音量を消音状態にします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

3. 数字ボタン
登録チャンネルに切り換えます。3桁入力や設定内でも使用します。

4. 入力切換ボタン
テレビにつないだビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの外部機器の映像を見るとき使用します。地上D→BS→CS1→CS2→ビデオ→HDMI1→HDMI2→HDMI3→PC入力の順番で切り換わります。

スリープボタン
設定した時間が経つと電源が切れます。

画面サイズボタン
ノーマル・ワイド・ズーム画面に切り換えます。

5. 映像モードボタン
映像モード「スタンダード」、「ダイナミック」、「シネマ」、「ゲーム」、「ユーザー」が選択できます。

省エネボタン
バックライトの明るさを調節して消費電力を低減します。

音声モードボタン
音質モード「ノーマル」「ロック」「ジャズ」「クラシック」「ユーザー」から選択できます。

6. チャンネルボタン（∧、∨）
設定されているチャンネル順にチャンネルを変更します。

7. 音量ボタン（+、ー）
音量を変更します。

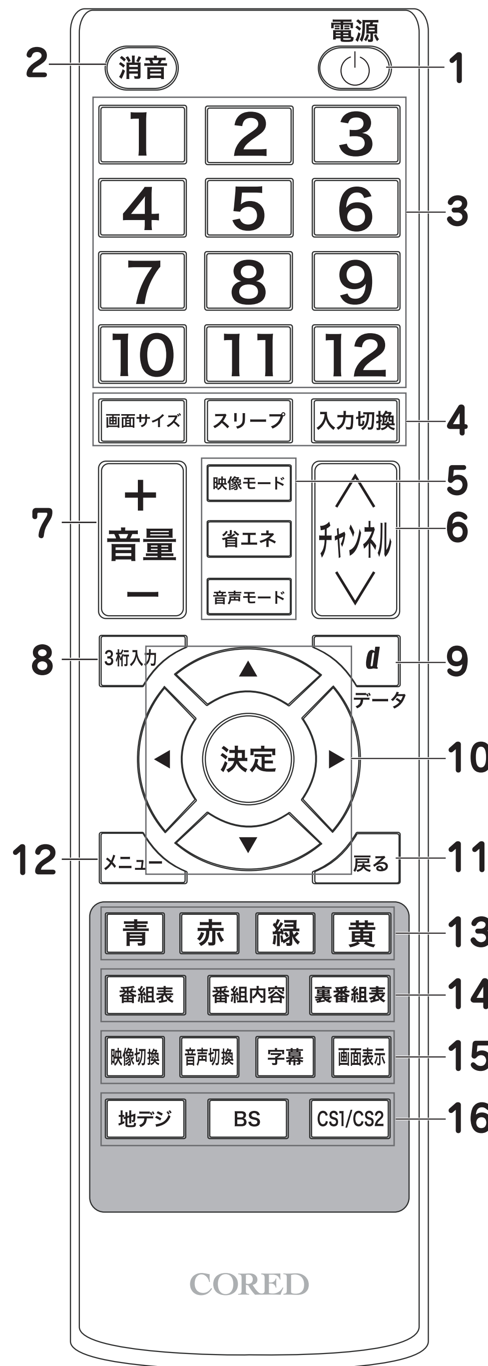
8. 3桁入力ボタン
デジタル放送の3桁のチャンネル番号を選局するときに使用します。

9. dボタン
地上デジタル放送の地域、チャンネルなどの設定、受信レベルの確認を表示します。

10.方向▲▼◀▶ボタン
設定や電子番組表のカーソル移動を行います。

11.戻るボタン
設定を操作している際に、一つ前に操作を戻す場合に使用します。

12.メニューボタン
設定メニューを表示します。



13.カラーボタン
データ放送や双方向サービスの中で使います。

14.番組表ボタン
地上デジタル番組表（EPG）を表示します。

番組内容ボタン
地上デジタル放送・BS・CSの視聴中に、番組情報を表示します。

裏番組表ボタン
視聴中の番組と、同時に放送している別のチャンネルの番組を一覧にして表示します。

15.映像切換ボタン
番組によりマルチアングル（Multi Angle:複数のカメラアングルの映像を同時に放送する）番組に対応・操作する機能です。設定の操作を決定します。

音声切換ボタン
番組の音声をモノラル/ステレオ、ステレオ1/ステレオ2、主/副/主+副の順で切り替えます。番組によって切り替え方が違います。

字幕ボタン
地上デジタル放送視聴中の字幕放送の場合、ボタンを押せば字幕が見られます。もう一回押せば字幕が消えます。
※番組によっては字幕なし、字幕1、字幕2の3段階切り替えの場合もあります。

画面表示ボタン
見ている番組の放送局名やチャンネル番号を表示します。

16.地デジボタン
地上デジタル放送への切り替えが一押しでできます。

BSボタン
BS放送への切り替えが一押しでできます。

CSボタン
CS放送への切り替えが一押しでできます。

テレビの設定

● テレビの設定手順

安全に品質を維持した状態で本製品をご利用いただくために下記の設定・接続が必要となります。

設置する

1 設置する

安全に本製品をご利用いただくために下記の注意事項を守って設置してください。

⚠ 注意

- 傾いていない水平な場所に設置してください。
- じゅうたんのような柔らかい場所やすべりやすい面などの不安定な場所には設置しないでください。
- 極端に温度が高いところや低いところに設置しないでください。
- スタンドの取り付けは、別紙の「スタンドの取り付け方」をご覧ください。
- 本製品を壁掛けを使用しての利用の場合は68ページをご覧になり、十分に理解した上で設置を行ってください。

アンテナの接続

2 アンテナを接続する

●地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ（地上デジタル用）が必要です。
●BS／110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。
※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。
●衛星アンテナへの電源供給のためには、アンテナ電源の設定が必要です。
P32の「●アンテナ電源」部分をご参照ください。

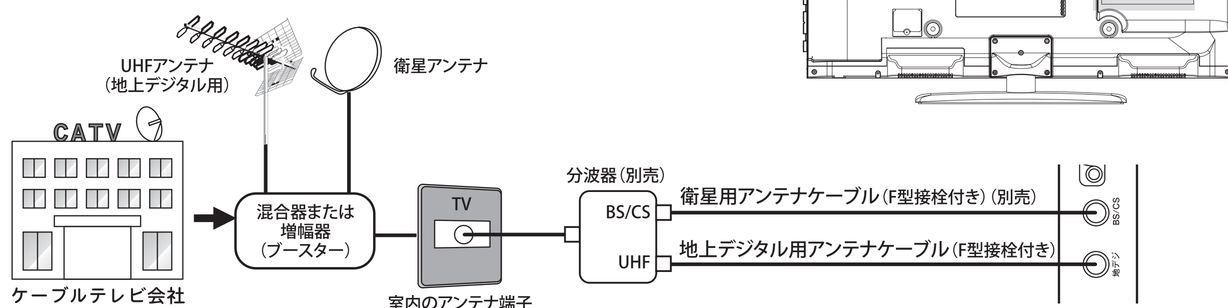
準備

⚠ 注意

【CATV（ケーブルテレビ）でデジタル放送をご覧になるお客さまへ】
ケーブルテレビ会社によって伝送方式や接続方法が異なります。
詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

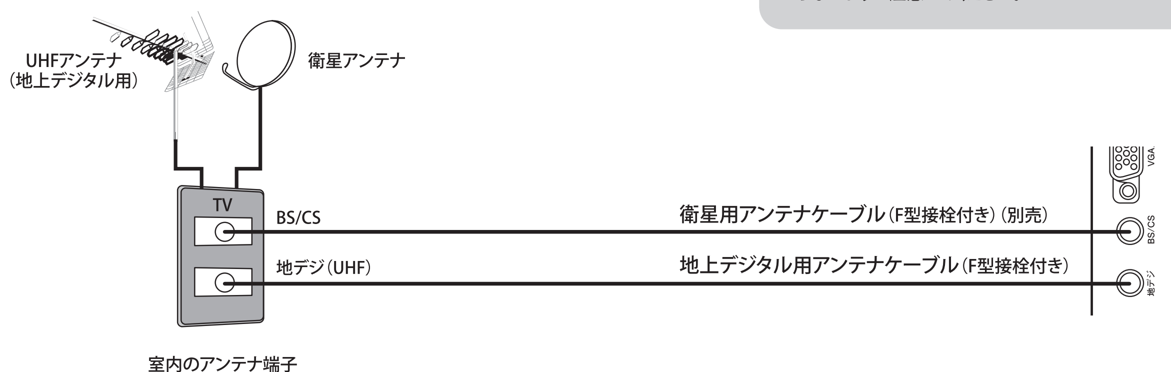
アンテナ入力端子
・地上デジタル（UHF）
・衛星アンテナ（BS/CS）

■ 地上デジタル放送とBS／110度CS放送の信号が混合されている場合



■ 地上デジタル放送とBS／110度CS放送の信号が個別の場合

⚠アンテナケーブルを接続する時に芯線の先端が曲がらないように注意してください。



※BSデジタル放送の有料放送や110度CSデジタル放送は受信契約が別途必要です。

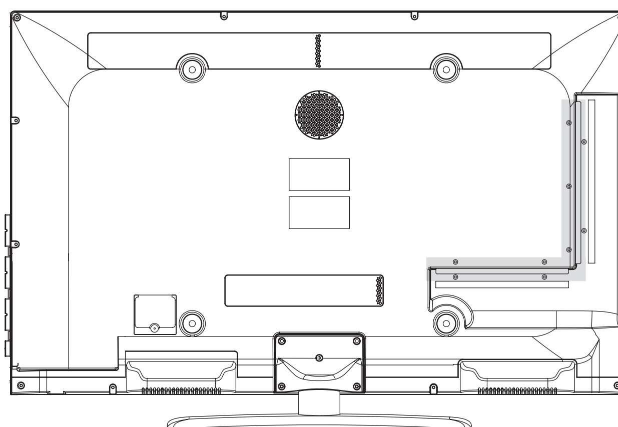
外部機器の接続

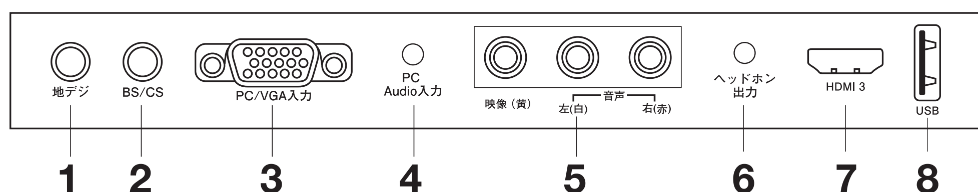
3 （必要に応じ）外部映像機器と接続する

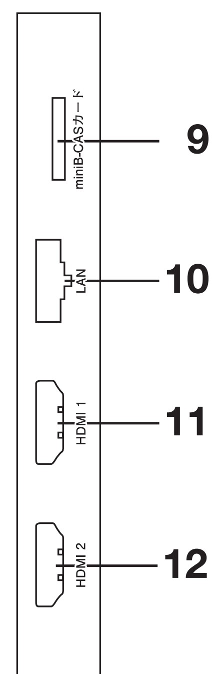
再生機器、PC（パソコン）等を接続する場合は本体背面の各入力端子を使用します。接続する機器に対応した入力端子に接続してください。

※ビデオデッキは相性の関係で正常に映像・音声が出ない場合があります。

本体背面







（　　　）端子表示

1 **アンテナ入力　地上デジタル放送（地デジ）**

2 **アンテナ入力　衛星放送（BS/CS）**

3 **PC/GVA入力（PC/VGA入力）**

4 **PC Audio入力（PC Audio入力）**

5 **ビデオ入力（映像、音声左、右）**

6 **ヘッドホン出力（ヘッドホン出力）**

7 **HDMI入力（HDMI 3）**

8 **USB（USB）**

9 **miniB-CASカード挿入口（miniB-CASカード）**

10 **LAN端子（LAN）**

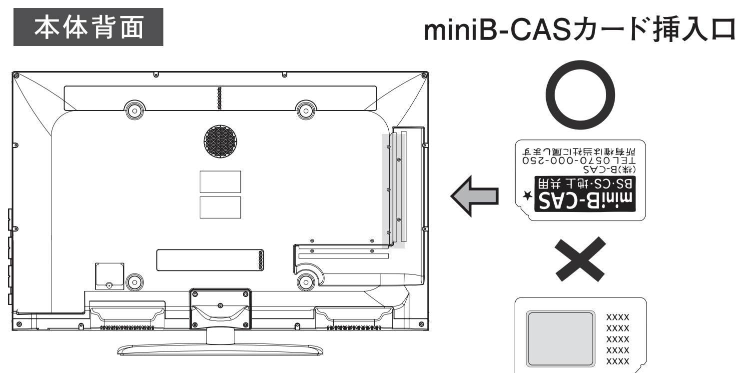
11 **HDMI入力（HDMI 1）**

12 **HDMI入力（HDMI 2）**

miniB-CASカードの準備

4 miniB-CASカードを入れる

デジタル放送を視聴する場合には、必ずminiB-CASカードを挿入してください。miniB-CASカードは、放送局からのメッセージ管理等のほか、著作権保護の為のコピー制御にも利用されています。
miniB-CASカードが挿入されていないとデジタル放送をご覧になれません。



miniB-CASカードは本製品の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で挿入します。
本体正面から見て左側にあるminiB-CASカード挿入口に挿入します。
上図のようにminiB-CASカードは「miniB-CAS」と書かれた面が本体背面を向くように、矢印の方向へ挿入してください。

miniB-CASカードを抜くとき

- 万一抜く必要があるときは、本製品の電源プラグを電源コンセントから抜いた後、ゆっくりとminiB-CASカードを抜いてください。
- miniB-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

miniB-CASカードについて

- 本製品に附属のminiB-CASカードには1枚ごとに違う番号（miniB-CASカード番号）が付与されています。
- miniB-CASカードに関する質問や台紙の内容などに関して不明な点がある場合は、B-CASカスタマーセンター（TEL:0570-000-250）へお問い合わせください。

⚠ 注意

- miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- miniB-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけないでください。
- miniB-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- miniB-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- miniB-CASカードの分解加工は行わないでください。
  ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となることがあります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとminiB-CASカードは機能しません。
  カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

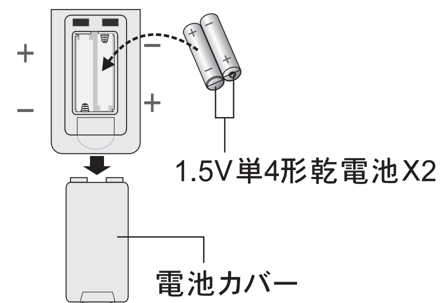
リモコンの準備

5 リモコンの準備をする

● リモコン背面の電池カバーを取り外してください。

● 電池の向き（+、–)に注意して単4形乾電池を入れてください。

● カバーを元に戻します。

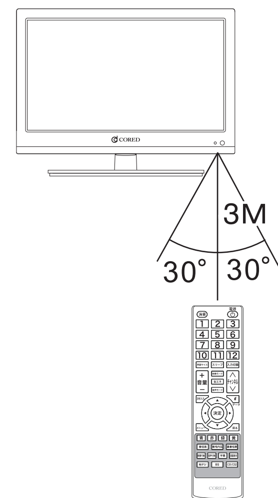


⚠ 注意

● 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 長い間(1カ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
● 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

⚠ 警告

電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。



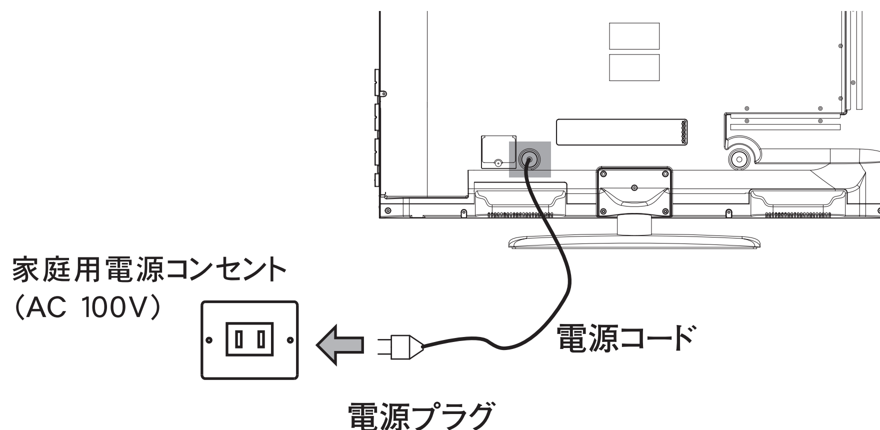
基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ 正しく向けて操作してください。
本製品のリモコン対応範囲は距離 3 メートル以内、上下左右30°以内（右図参照）です。
またリモコンとリモコン受光部の間に物を置かないようにしてください。

電源コードをつなぐ

6 電源コードを接続する

本体に付いている電源コードを電源コンセントに接続してください。

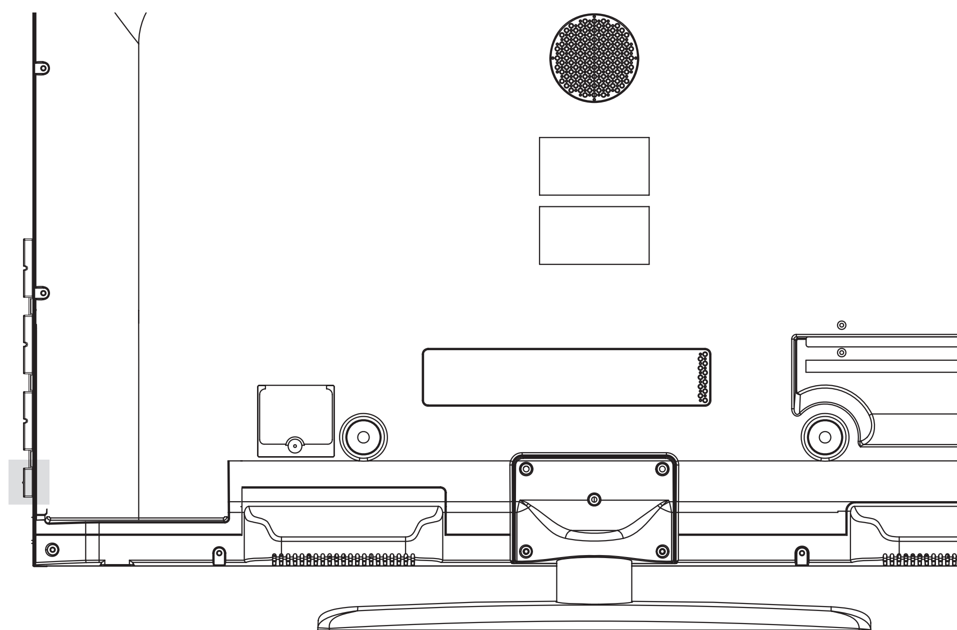


⚠ 注意

● 電源をつなげる前に、すべての必要な接続が適切に行われているか確認してください。
● 電源プラグを挿入するのが難しい場合は、電源プラグを裏返して再挿入してください。
● もし、製品を一定の長い期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

電源を入れる

7 電源を入れる



● 本体背面の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押すと本体がONになってから緑の電源ランプが点灯します。
スタンバイ時は赤ランプに変わります。





⚠ 注意

● 電源を入れてから画面が映るまでに約10数秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ち下さい。

● リモコンの電池が正しく入っていることを確認してください。

テレビを見る

「テレビを見る」の項目では、本製品をお使いいただく際の基本的な操作方法やさまざまな機能のご使用方法をご案内いたします。

メニュー／TV設定

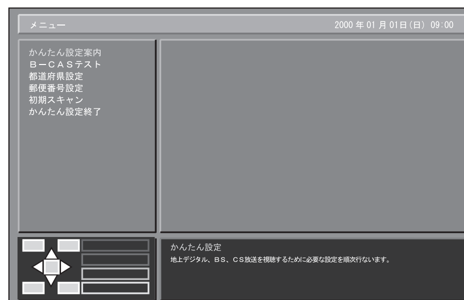
●メニュー

メニューボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

メニュー
- 映像設定
- 音質設定
- 省エネ設定
- TV設定
- PC設定

●メニュー画面／TV設定

メニュー画面の中から「TV設定」を選択し (決定) を押すと次のメニューが表示されます。



※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

●TV設定 一覧

かんたん設定
- かんたん設定案内
- Ｂ－ＣＡＳテスト
- 都道府県設定
- 郵便番号設定
- 初期スキャン
- かんたん設定終了

個人情報
- 都道府県設定
- 郵便番号設定
- 暗証番号設定
- 視聴制限設定
- 設定リセット

機器設定
- Ｂ－ＣＡＳテスト
- 初期スキャン
- 再スキャン
- ＢＳ／ＣＳスキャン
- アンテナ設定
- アンテナ電源
- スキップ設定
- プリセット設定
- 工場出荷時リセット

動作設定
- 音声設定
- 字幕・文字スーパー設定
- ダウンロード設定
- イベントリレー設定
- 降雨対応設定

通信設定
- LAN設定
- LANテスト

機器情報
- Ｂ－ＣＡＳ情報表示
- ID表示

メール表示
- 放送メール表示
- システムメール表示

ボード表示
- ＣＳ１ボード表示
- ＣＳ２ボード表示

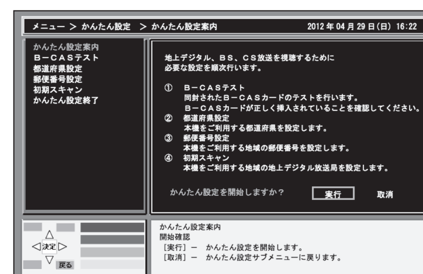
かんたん設定

地上デジタル放送のチャンネル設定をします。

●かんたん設定案内

①「かんたん設定」を実行するには、◀決定▶ で「実行」を選択し 決定 を押します。

※「かんたん設定」を行わなかった場合や、中断された場合は「デジタルメニュー」から再度行ってください。

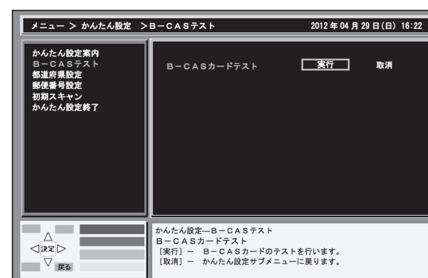


②「かんたん設定」を中止するには、◀決定▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

●B-CASテスト

① B-CASカードのテストを実行する場合、◀決定▶ で「実行」を選択し 決定 を押します。

※テスト結果が正常でなかった場合、miniB-CASカードの挿入方向を確認してください。

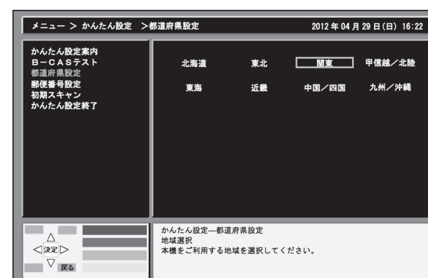


② B-CASカードのテスト結果が表示されます。「確認」ボタンを押して【都道府県設定】に進んでください。

※B-CASテストのテストを中止する場合、◀決定▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

●都道府県設定

①「地域選択」でご使用になる地域を選択する。選択した地域の「都道府県名」が表示されます。ご使用になる都道府県名を ▲◀決定▶▼ で選択し 決定 を押します。設定が正しければ ◀決定▶ で「設定」を選択し 決定 を押します。



②「確認」ボタンを押して【郵便番号設定】に進んでください。

※「都道府県設定」を設定しない場合、◀決定▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

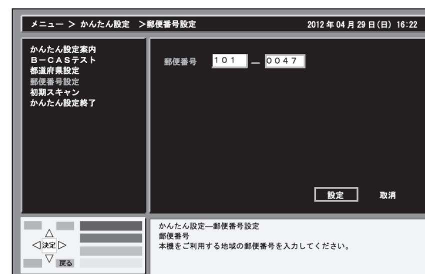
かんたん設定

テレビを見る

●郵便番号設定

① 画面の右側に「郵便番号入力エリア」が表示されます。ご使用になる地域の郵便番号を[数字ボタン]で入力し、「設定」を選択し（決定）を押します。

※前半の3桁を入力すると自動的に後半の入力位置に移動します。



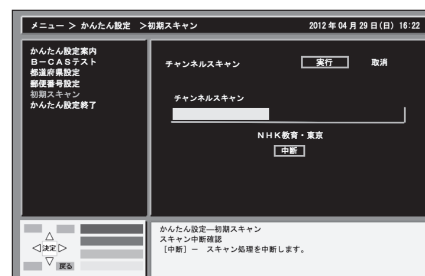
② 「確認」ボタンを押して【初期スキャン】に進んでください。

※「郵便番号設定」を設定しない場合、（◀▶）で「取消」を選択し（決定）を押します。

●初期スキャン

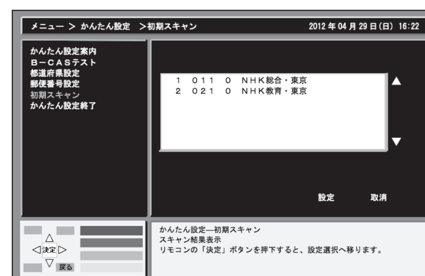
① 画面の右側に「チャンネルスキャン」が表示されます。初期スキャンを実行する場合、（◀▶）で「実行」を選択し（決定）を押します。

※初期スキャンを中止する場合、（◀▶）で「取消」を選択し（決定）を押します。



② 初期スキャンを実行するとチャンネルスキャンが始まります。バーが表示されるのでスキャンが完了するまでお待ちください。
チャンネルスキャンが完了すると「チャンネルスキャン完了」が表示され「次へ」が表示されるので（決定）を押します。スキャンしたチャンネル情報で設定する場合は（決定）を押し、「設定」を選択して（決定）を押します。

※初期スキャンの内容を設定しない場合、（◀▶）で「取消」を選択し（決定）を押します。



以上でかんたん設定は終了です。
地上デジタル放送をお楽しみください。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

個人情報

●都道府県設定

本製品を設置して、ご使用になる都道府県の設定を行います。

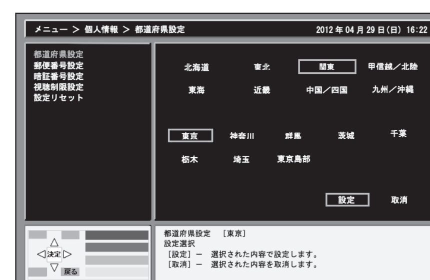
① 「個人情報」のサブ項目で、「都道府県設定」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。



② 画面の右側に「地域選択」の項目が表示されます。ご使用になる地域を ◀▶▲▼ で選択し 決定 を押します。

③ 「地域選択」の項目の下に②で選択した「都道府県名」が表示されます。ご使用になる都道府県名を ◀▶▲▼ で選択し 決定 を押します。

設定が正しければ ◀▶ で「設定」を選択し 決定 を押します。

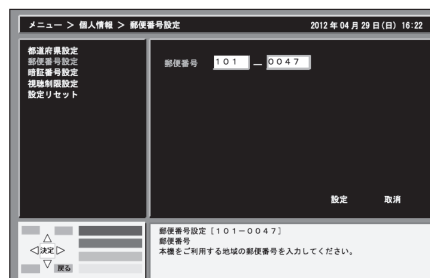


④ 「都道府県設定」を設定しない場合、◀▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

●郵便番号設定

本製品を設置して、ご使用になる地域の郵便番号の設定を行います。

① 「個人情報」のサブ項目で「郵便番号設定」を ▲▼ で選択し 決定 で決定する。



② 画面の右側に「郵便番号入力エリア」が表示されます。ご使用になる地域の郵便番号を[数字ボタン]で入力します。

※前半の3桁を入力すると自動的に後半の入力位置に移動します。

※入力した数字を間違えた場合は 戻る を押すごとに1桁ずつ数字を消すことができます。

③ 7桁目を入力し入力内容が正しい場合は、決定 または ▼ を押します。

設定が正しければ ◀▶ で「設定」を選択し 決定 を押します。

④ 「郵便番号設定」を設定しない場合、◀▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

テレビを見る

個人情報

●暗証番号設定

視聴制限の設定・変更・設定リセットをおこなうための暗証番号設定を行います。

① 「個人情報」のサブ項目で、「暗証番号設定」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

② 画面の右側に「暗証番号入力エリア」が表示されます。



③ 新しい暗証番号を[数字ボタン]で入力します。

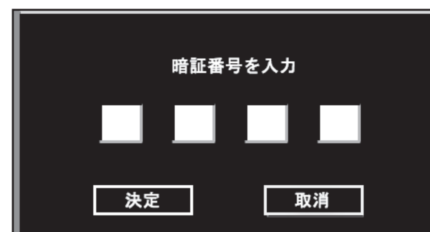
④ 4桁目を入力し 決定 または ▼ を押します。

決定 または ▼ を押すと「再入力」エリアに入力できるようになります。

⑤ 再度、新しい暗証番号を[数字ボタン]で入力します。

⑥ 4桁目を入力し 決定 または ▼ を押します。

⑦ 再びこのメニューに入ると画面の中央に「暗証番号入力エリア」が表示されます。現在設定されている暗証番号を[数字ボタン]で入力します。



⑧ 4桁目を入力し入力内容が正しい場合は、決定 または ▼ を押します。

設定が正しければ ◀▶ で「設定」を選択し 決定 を押します。

※設定が間違っていた場合はダイアログ表示されます。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

テレビを見る

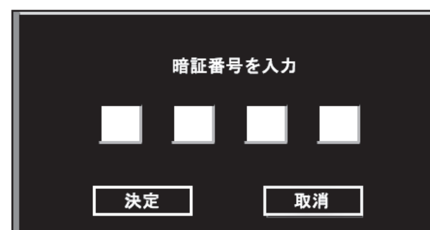
個人情報

●視聴制限設定

視聴する人の制限年齢の設定を行います。

① 「個人情報」のサブ項目で、「視聴制限設定」を ▲▼ で選択し （決定） を押します。

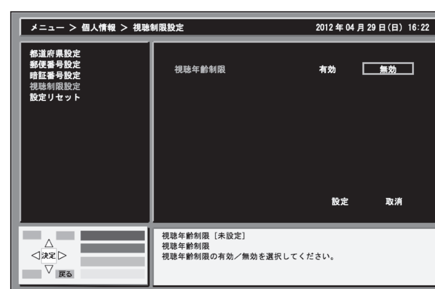
② 画面の中央に「暗証番号入力エリア」が表示されます。現在設定されている暗証番号を[数字ボタン]で入力します。
※「視聴制限設定」の前に暗証番号の認証を行っている場合、「暗証番号入力エリア」は表示されません。



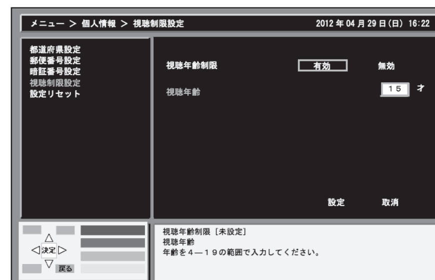
③ 4桁目を入力し入力内容が正しい場合は、（決定） または ▼ を押します。

設定が正しければ ◀▶ で「設定」を選択し （決定） を押します。

④ 暗証番号が正しい場合、画面の右側に「視聴年齢制限」が表示されます。



⑤ 「視聴年齢制限」を「有効」にされる場合、◀▶ で「有効」を選択すると「視聴年齢」入力エリアが表示されます。
設定されたい年齢を[数字ボタン]で入力し、（決定） または ▼ を押すと「設定」が選択されますので、設定を有効にするときは （決定） を押します。



⑥ 「視聴年齢制限」を「無効」にされる場合、◀▶ で「無効」を選択し、（決定） または ▼ を押すと「設定」が選択されます。選択を有効にするときは （決定） を押します。

⑦ 「視聴制限設定」を設定しない場合は ◀▶ で「取消」を選択し （決定） を押します。

※設定が間違っていた場合
・再入力された暗証番号が間違っている場合は、④の状態に戻ります。再度設定を行ってください。
・操作を一つ戻す場合は、（戻る） を押してください。

※入力を間違えた場合
・誤って入力した数字を直す場合は、（戻る） を押すと直前の数字が消えます。
また （戻る） を押した回数だけ入力された数字が消されます。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

個人情報

●設定リセット

下記の設定をリセットし、工場出荷状態に戻します。

・「個人情報」メニューで設定した内容
・地上デジタル放送のスキャン情報
・アンテナ電源
・視聴予約リスト
・イベントリレー設定
・降雨対応設定
・音声設定
・字幕・文字スーパー設定

① 「個人情報」のサブ項目で、「設定リセット」を ◀決定▶ で選択し 決定 を押します。

② 設定リセットを実行する場合、◀決定▶ で「実行」を選択し 決定 を押します。

※「設定リセット」は一度行うとリセット以前の設定に戻すことができませんのでご注意ください。



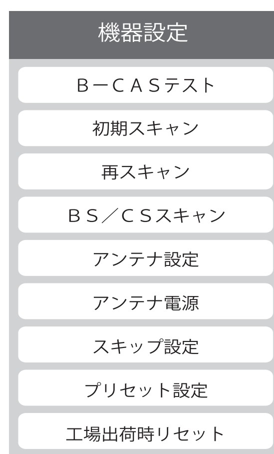
③ 「設定リセット」を中止する場合、◀決定▶ で「取消」を選択し、決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

機器設定

●機器設定

「機器設定」ではminiB-CASカードのテスト、デジタル放送（地上デジタル・BS/CS110度デジタル）のチャンネルスキャンなどの設定を行います。「機器設定」には次の項目があります。



●B-CASテスト

本製品に挿入されているminiB-CASカードが正常に機能しているかテストを行います。

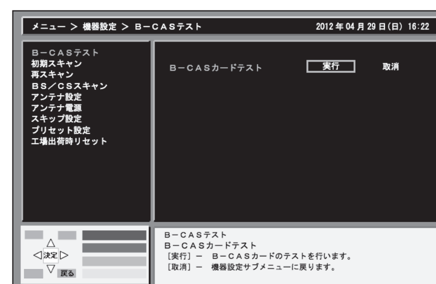
miniB-CASカード?

地上デジタル放送は、映像や音声をデジタルデータとして送受信します。そのため、不正コピーを防ぐためにデータを暗号化してあります。miniB-CASカードにはこれを解除するためのデータが記録されています。miniB-CASカードを受信機に挿入しないと、デジタル放送が正しく受信できません。

① 「機器設定」のサブ項目で、「B-CASテスト」を ◀決定▶ で選択し 決定 を押します。

② B-CASカードのテストを実行する場合 ◀決定▶ で「実行」を選択し 決定 を押します。

※テスト結果が正常でなかった場合、miniB-CASカードの挿入方向を確認してください。



③ B-CASカードのテストを中止する場合、◀決定▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

メモ

miniB-CASカードの台紙の内容やminiB-CASカードに関する質問など不明な点がある場合や、カードを紛失、破損してしまった場合はB-CASカスタマーセンター（TEL:0570-000-250）へお問い合わせください。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

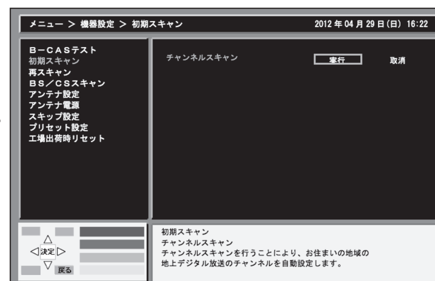
機器設定

●初期スキャン

地上デジタル放送に関するチャンネル情報の新規スキャンを行います。

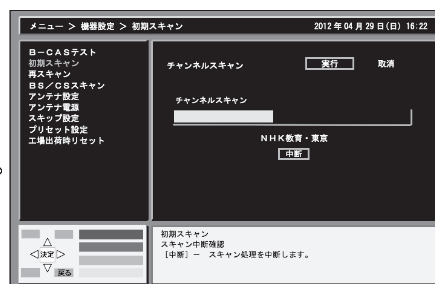
① 「機器設定」のサブ項目で、「初期スキャン」を ◀▶ で選択し 決定 を押します。

② 画面の右側に「チャンネルスキャン」が表示されます。初期スキャンを実行する場合、◀▶ で「実行」を選択し 決定 を押します。

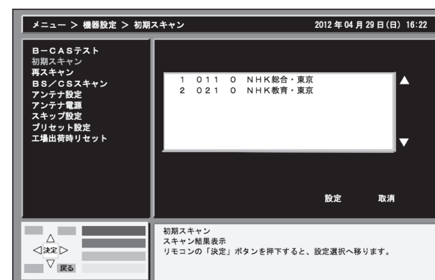


③ 初期スキャンを中止する場合、◀▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

④ 初期スキャンを実行するとチャンネルスキャンが始まります。バーが表示されますのでスキャンが完了するまでお待ちください。チャンネルスキャンが完了すると「チャンネルスキャン完了」が表示され「次へ」が表示されます。「実行」を選択し 決定 を押します。



⑤ 初期スキャンで検索されたチャンネルが表示されます。初期スキャンの内容を設定する場合、▲▼ で「設定」を選択し 決定 を押します。



⑥ 初期スキャンの内容を設定しない場合、▲▼ で「取消」を選択し 決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

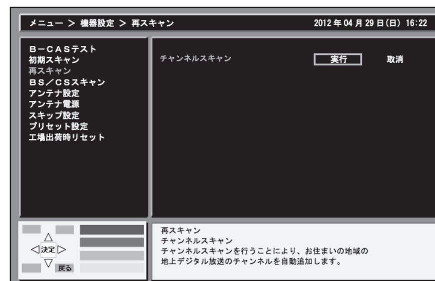
機器設定

●再スキャン

地上デジタル放送に関するチャンネル情報の再スキャンを行います。

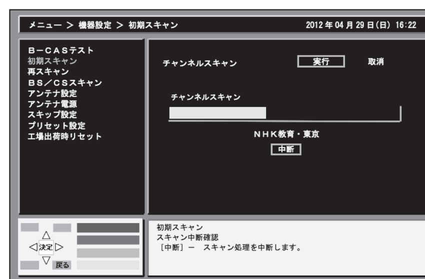
① 「機器設定」のサブ項目で、「再スキャン」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

② 画面の右側に「チャンネルスキャン」が表示されます。再スキャンを実行する場合、◀▶ で「実行」を選択し 決定 を押します。

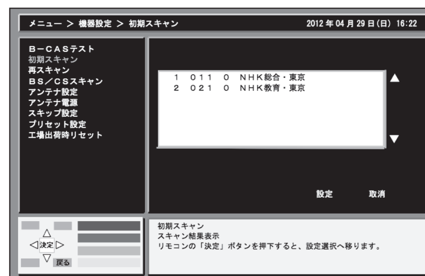


③ 再スキャンを中止する場合、◀▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

④ 再スキャンを実行するとチャンネルスキャンが始まります。バーが表示されますのでスキャンが完了するまでお待ちください。チャンネルスキャンが完了すると「チャンネルスキャン完了」が表示されます。続いて「次へ」が表示されるので 決定 を押します。



⑤ 再スキャンで検索されたチャンネルが表示されます。再スキャンの内容を設定する場合、▲▼ で「設定」を選択し 決定 を押します。



⑥ 再スキャンの内容を設定しない場合、▲▼ で「取消」を選択し 決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

機器設定

●BS/CSスキャン

BS/110度CS地上デジタル放送に関するチャンネル情報の調整を行います。

※通常、周波数の調整は行う必要はありません。下記の場合に行ってください。
・新しい衛星が追加された場合
・現在の衛星が故障し、新しい周波数を使用することになった場合

BS/110度CS地上デジタル放送をご覧になるには衛星アンテナが必要です。P12の接続方法をご覧になり、正しくアンテナを設置してください。

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルを視聴するには、各局への申し込みと契約が必要になります。加入申し込み方法や接続方法はBSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社により異なります。
詳細は放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

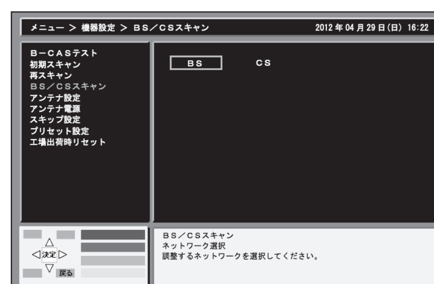
① 「機器設定」のサブ項目で、「BS/CSスキャン」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

② 画面の右側に「BS」と「CS」の項目が表示されます。BSの調整を実行する場合、◀▶ で「BS」を選択し 決定 を押します。

※BS-①から参照してください。

CSの調整を実行する場合、◀▶ で「CS」を選択し 決定 を押します。

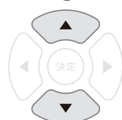
※CS-①から参照してください。



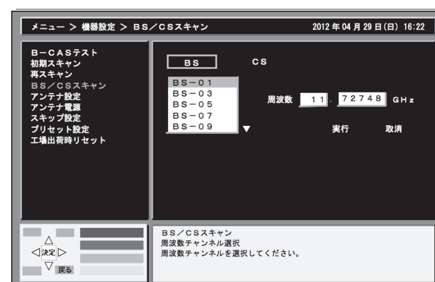
※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

機器設定

BS-①

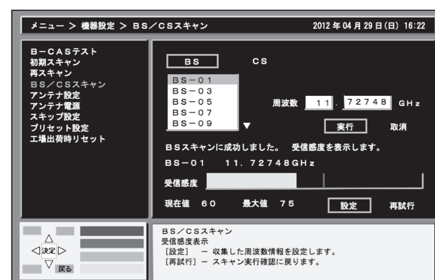


で調整したいチャンネルを選択し 決定 を押します。



BS-②

[数字ボタン]で変更される周波数を入力し、決定 を押します。



「実行」、「取消」が表示されますので、再設定された周波数でBSスキャンを行う場合、で「実行」を選択し 決定 を押します。

BS-③

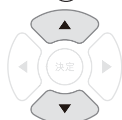
スキャンが成功すると、『BSスキャンに成功しました。受信感度を表示します。』と表示されます。

設定する場合、で「設定」を選択し 決定 を押します。

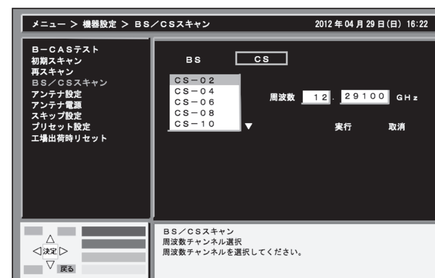
※スキャンに失敗した場合

・『BSスキャンに失敗しました。受信感度を表示します。』と表示されます。「再試行」を選択し 決定 を押してください。
周波数が正しいか確認し、再度設定を行ってください。

CS-①

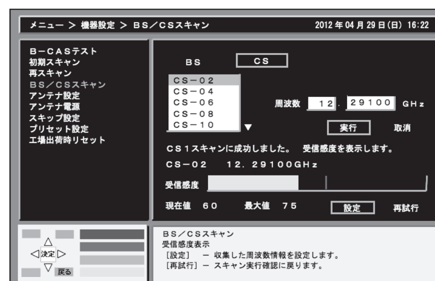


で調整したいチャンネルを選択し 決定 を押します。



CS-②

周波数の数値を[数字ボタン]で変更される周波数を入力し、決定 を押します。



「実行」、「取消」が表示されますので、再設定された周波数でBSスキャンを行う場合、で「実行」を選択し 決定 を押します。

CS-③

スキャンが成功すると、『CSスキャンに成功しました。受信感度を表示します。』と表示されます。設定する場合、で「設定」を選択し 決定 を押します。

※スキャンに失敗した場合

・『CSスキャンに失敗しました。受信感度を表示します。』と表示されます。「再試行」を選択し 決定 を押してください。
周波数が正しいか確認し、再度設定を行ってください。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

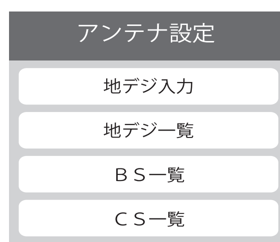
機器設定

テレビを見る

●アンテナ設定

電波の強さを表示します。
地上デジタルアンテナやBS/110度CSデジタル共用アンテナを設置したいときや、引越しなどでアンテナの角度を調整する場合に使用します。

「アンテナ設定」では下記の項目が設定できます。



■ 地上デジタルのチャンネル番号からアンテナ設定を実行する場合、◀ ▶で「地デジ入力」を選択し 決定 を押します。
※地デジ入力-①から参照してください。

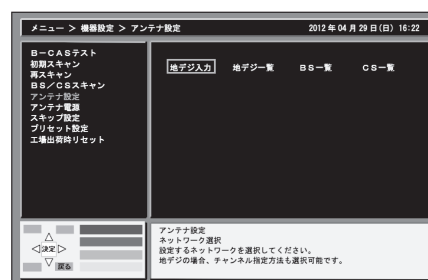
■ お住まいの地域の地上デジタル放送一覧からアンテナ設定を実行する場合、◀ ▶で「地デジ一覧」を選択し 決定 を押します。
※地デジ一覧-①から参照してください。

■ BSデジタル放送の周波数チャンネル一覧からアンテナ設定を実行する場合、◀ ▶で「BS一覧」を選択し 決定 を押します。
※BS-①から参照してください。

■ 110度CSデジタル放送の周波数チャンネル一覧からアンテナ設定をする場合、◀ ▶で「CS一覧」を選択し 決定 を押します。
※CS-①から参照してください。

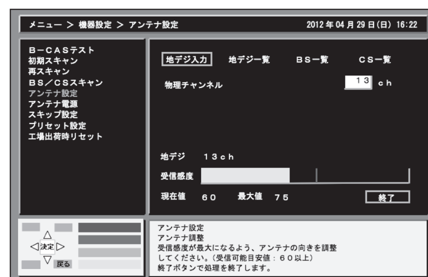
地デジ入力-①

「物理チャンネル」のチャンネル入力欄が表示されるので、調整したい放送局の物理チャンネルを[数字ボタン]で入力し 決定 を押します。



地デジ入力-②

入力したチャンネルの受信感度が表示されます。受信感度が最大になるようにアンテナの向きを調節してください。
調節が終わったら「終了」を選択し 決定 を押します。





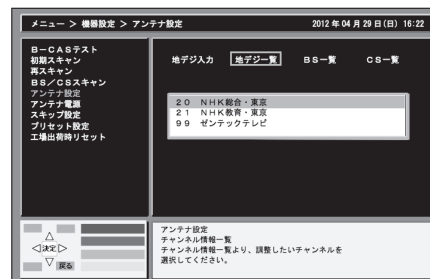
物理チャンネルとは実際に受信する周波数を表すチャンネルの番号です。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

地デジ一覧-①

リストボックス内に登録されているチャンネル一覧が表示されるので調節したいチャンネルを（▲▼）で選択し（決定）を押します。

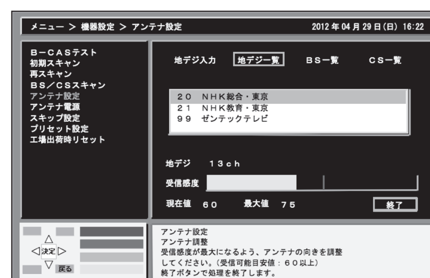
※リストボックス内の左側の数字が物理チャンネルです。



地デジ一覧-②

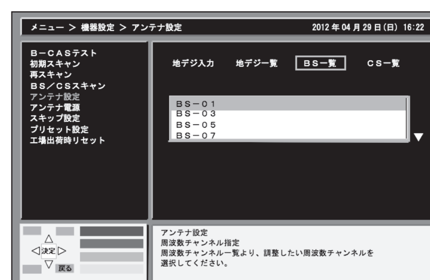
選択したチャンネルの受信感度が表示されるので、受信感度が最大になるようにアンテナの向きを調節してください。

調節が終わったら「終了」を選択し（決定）を押します。



BS一覧-①

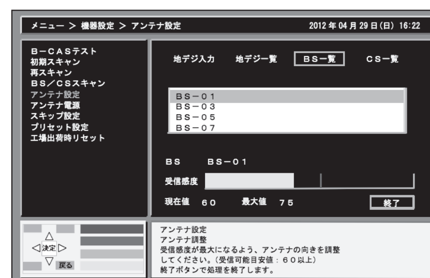
リストボックス内に登録されているチャンネル一覧が表示されるので調節したいチャンネルを（▲▼）で選択し（決定）を押します。



BS一覧-②

選択したチャンネルの受信感度が表示されるので、受信感度が最大になるようにアンテナの向きを調節してください。

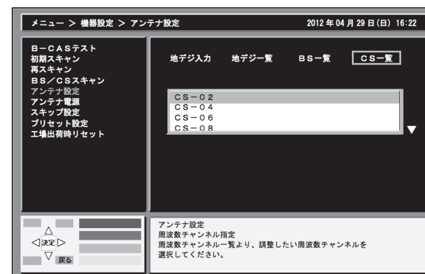
調節が終わったら「終了」を選択し（決定）を押します。



※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

機器設定

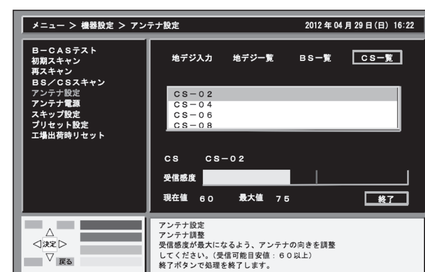
CS一覧-①



リストボックス内に登録されているチャンネル一覧が表示されるので

調整したいチャンネルを ▲▼ で選択し 決定 を押します。

CS一覧-②



選択したチャンネルの受信感度が表示されるので、受信感度が最大になるようにアンテナの向きを調節してください。

調節が終わったら「終了」を選択し 決定 を押します。

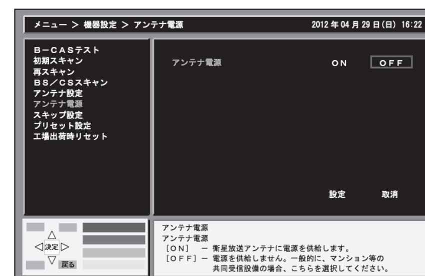
●アンテナ電源

衛星放送アンテナへの電源供給の設定を行います。
・衛星アンテナに電源を供給する場合は[ON]を選択してください。
・マンションなどの共同受信設備の場合は[OFF]を選択してください。

① 「機器設定」のサブ項目で、「アンテナ電源」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

② 画面の右側に「アンテナ電源」の「ON・OFF」が表示されます。

アンテナ電源のONかOFFを ◀▶ で選択し 決定 を押します。



③ 選択した項目を設定する場合、◀▶ で「設定」を選択し 決定 を押します。

④ 選択した項目で設定しない場合、◀▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

新たに衛星アンテナを設置するときは、必ず「アンテナ電源」設定を「OFFに設定」してから行ってください。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

機器設定

●スキップ設定

地上デジタル放送・BS/110度CSデジタル放送の視聴中にリモコンの[↑ ↓ チャンネルボタン]でスキップするチャンネル設定を行います。

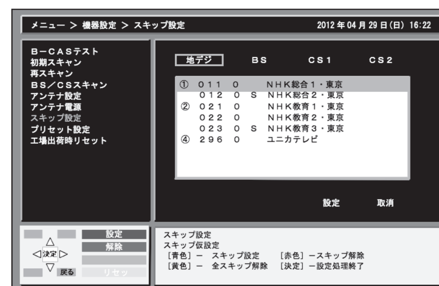
「スキップ設定」では下記の項目が設定できます。

スキップ設定
地デジ
ＢＳ
ＣＳ1
ＣＳ2

■ 地デジ・BS・CS1・CS2でチャンネル一覧の内容が変わりますが設定方法は同じです。

① 「機器設定」のサブ項目で、「スキップ設定」を 決定 で選択し 決定 を押します。

② 「地デジ」を 決定 で選択し 決定 を押すと、チャンネル一覧のリストボックスが表示されます。



③ スキップするチャンネルを 決定 で選択し[青ボタン]で決定すると放送局名の左側に「S」が表示されます。

※「S」:スキップ設定されたチャンネル

④ スキップ設定されたチャンネルの設定解除をする場合は、決定 で「S」が表示されているチャンネルを選択し、[赤ボタン]を押します。 「S」表示が消え、設定が解除されます。

⑤ 全ての「S」表示を解除する場合は[黄ボタン]を押します。

⑥ スキップ設定の操作を終わらせる場合、決定 を押します。

スキップ設定の内容をそのまま設定する場合、決定 で「設定」を選択し 決定 を押します。

⑦ スキップ設定の内容を設定しない場合、決定 で「取消」を選択し 決定 を押します。

テレビを見る

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

機器設定

●プリセット設定

リモコンのチャンネルボタンにお好みのチャンネルを割り当てます。

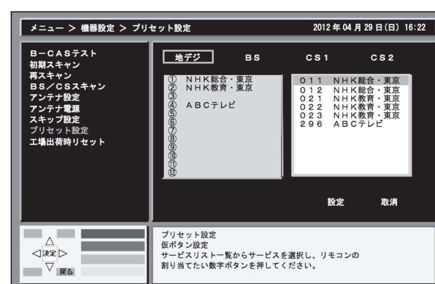
「プリセット設定」では下記の項目が設定できます。

プリセット設定
地デジ
ＢＳ
ＣＳ1
ＣＳ2

■ 地デジ・BS・CS1・CS2のそれぞれでチャンネルプリセット設定ができます。
本書では地デジを例として設定方法をご紹介します。

① 「機器設定」のサブ項目で、「プリセット設定」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

② 「地デジ」 を ◀▶ で選択し 決定 を押すと、左側に「各チャンネルボタン」、右側に「サービス一覧リスト」のリストボックスが表示されます。



③ 右側の「サービス一覧リスト」から割り当てたいチャンネルを ▲▼ で選択し、割り当てたい[数字ボタン]を押します。

④ プリセット設定の操作を終わらせる場合、決定 を押します。

プリセット設定の内容をそのまま設定する場合、◀▶ で「設定」を選択し 決定 を押します。

⑤ プリセット設定の内容を設定しない場合、◀▶ で「取消」を選択し 決定 を押します。

※同一の放送内で複数の[数字ボタン]に同じチャンネルを割り当てることはできません。
また、同じ[数字ボタン]に複数のチャンネルを割り当てることはできません。

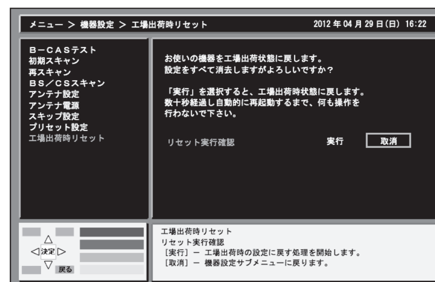
※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

●工場出荷時リセット

現在の設定を工場出荷状態に戻します。設定が全て消去されるのでご注意ください。

① 「機器設定」のサブ項目で、「工場出荷時リセット」を▲▼で選択し 決定 を押します。

② 右側に「リセット実行確認」が表示され「実行」、「取消」が表示されます。



③ 工場出荷時の状態に戻す場合、◀▶で「実行」を選択し 決定 を押します。

※「工場出荷時リセット」は一度行うとリセット以前の設定に戻すことはできませんのでご注意ください。



「実行」を選択すると、数十秒後に再起動します。再起動するまでは操作を行わないでください。

④ 工場出荷時リセットを実行しない場合は、◀▶で「取消」を選択し 決定 を押します。

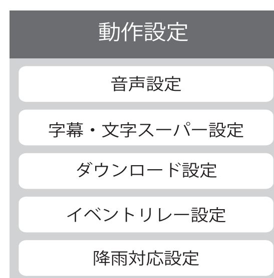
テレビを見る

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

動作設定

●動作設定

「動作設定」では地上デジタル放送・BS/110度CSデジタル放送の音声・字幕の設定をはじめ、イベントリレー設定や降雨時の自動調整機能などの設定を行うことができます。
「動作設定」では下記の項目を設定できます。



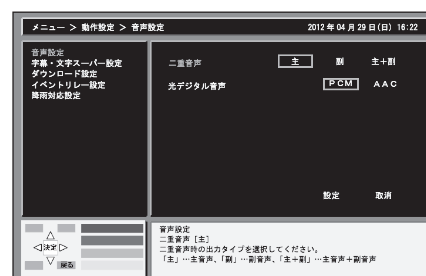
●音声設定

二ヶ国語放送などの二重音声時の出力切替を行います。

① 「動作設定」のサブ項目で、「二重音声」を 決定 で選択し 決定 を押します。

② 画面の右側に「二重音声」の項目が表示され現在の状態が表示されます。

③ 二重音声の設定を変更する場合は「主」、「副」、「主＋副」のいずれかを 決定 で選択し 決定 を押します。



④ 選択した内容をそのまま設定する場合、決定 で「設定」を選択し 決定 を押します。

⑤ 音声設定を設定しない場合、決定 で「取消」を選択し 決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

動作設定

●字幕・文字スーパー設定

字幕放送時の字幕のオン/オフ、字幕の表示言語設定、文字スーパー表示のオン/オフ、文字スーパーの表示言語設定を行います。

■字幕について
放送によっては、「オン」に設定しても字幕が表示されない場合があります。
字幕とは、デジタル放送の字幕放送の映画やドラマ等で表示される字幕のことです。

■文字スーパーについて
地上デジタル放送・BS/110度CSデジタル放送時のみ文字スーパーが表示されます。
文字スーパーとは、デジタル放送で表示される臨時ニュース等のことです。

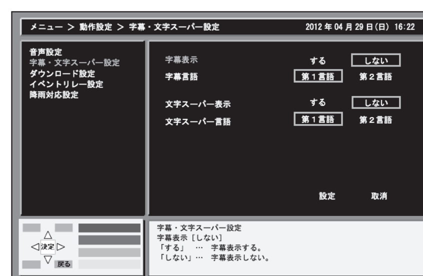
① 「動作設定」のサブ項目で、「字幕・文字スーパー」を◀▶で選択し〔決定〕を押します。

② 右側に「字幕表示」、「字幕言語」、「文字スーパー表示」、「文字スーパー言語」の設定項目が表示されます。

③ 字幕表示の設定を変更する場合は「する」、「しない」のいずれかを◀▶で選択し〔決定〕を押します。

④ 字幕言語の現在の設定状態が表示されます。
字幕言語の設定を変更する場合は「第一言語」「第二言語」のいずれかを◀▶で選択し〔決定〕を押します。

※実際の放送が第一言語のみだった場合、第二言語を選択されていても自動で第一言語になります。



⑤ 文字スーパー表示の設定状態が表示されています。
設定を変更する場合は「する」、「しない」のいずれかを◀▶で選択し〔決定〕を押します。

⑥ 文字スーパー言語の設定を変更する場合は「第一言語」、「第二言語」のいずれかを◀▶で選択し〔決定〕を押します。

⑦ 選択した内容をそのまま設定する場合、◀▶で「設定」を選択し〔決定〕を押します。

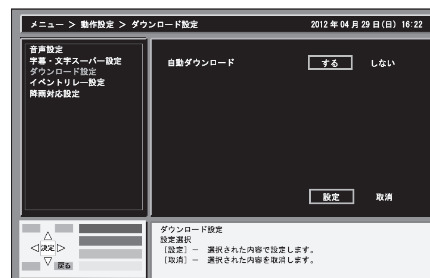
⑧ 選択した内容を設定しない場合、◀▶で「取消」を選択し〔決定〕を押します。

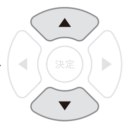
※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

動作設定

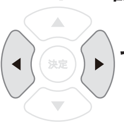
●ダウンロード設定

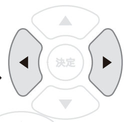
ES（エンジニアリング・サービス：地上デジタル放送受信機に対してのソフトウェアおよび放送受信環境を常に最適な状態にする機能のこと）の自動ダウンロードの設定をします。

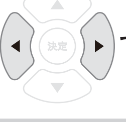


① 「動作設定」のサブ項目で、「ダウンロード設定」を  で選択し（決定）を押します。

② 画面の右側に「自動ダウンロード」の項目が表示されます。

③ 自動ダウンロードの設定を変更する場合は「する」、「しない」のいずれかを  で選択し（決定）を押します。

④ 選択した内容をそのまま設定する場合、 で「設定」を選択し（決定）を押します。

⑤ ダウンロード設定を設定しない場合、 で「取消」を選択し（決定）を押します。



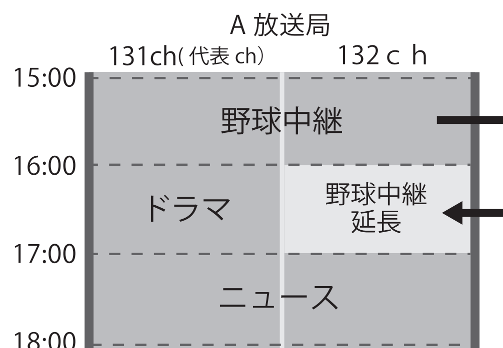
「自動ダウンロード」をする場合はES（エンジニアリング・サービス）が本製品のスタンバイ状態に行われます。

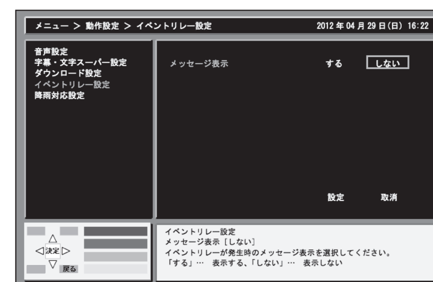
●イベントリレー設定

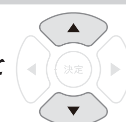
番組放送中にイベントリレーが発生した場合、お知らせメッセージを表示するかどうかの設定を行います。

■イベントリレーとは

放送局がデジタルハイビジョン放送を行う場合、複数のチャンネルで同じ番組を放送している場合があります。
番組放送中に割り込みや延長があり放送時間内に番組が終わらなかった場合、代表チャンネル以外のチャンネルで引き続き放送されることです。





① 「動作設定」のサブ項目で、「イベントリレー設定」を  で選択し（決定）を押します。

② 画面の右側に「メッセージ表示」の項目が表示され、現在の設定内容が表示されます。

③ イベントリレーの設定を変更する場合は「する」、「しない」のいずれかを  で選択し（決定）を押します。

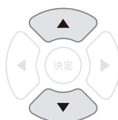
※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

動作設定

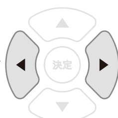
●降雨対応設定

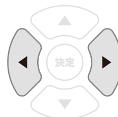
降雨や降雪時など受信レベルが低下した場合、映像や音声が途切れや無音状態が起こります。この機能を設定することで受信レベルが低下した時、画質や音質を落として、映像や音声を途切れにくくします。

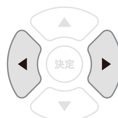
※全ての放送で不具合が起こる訳ではありません。

① 「動作設定」のサブ項目で、「降雨対応設定」を  で選択し 決定 を押します。



② 右側に「降雨自動対応」が表示され、「する」、「しない」の項目が表示されます。「する」、「しない」のいずれかを  で選択し 決定 を押します。

③ 降雨対応設定の内容をそのまま設定する場合、 で「設定」を選択し 決定 を押します。

④ 降雨対応設定の内容を設定しない場合、 で「取消」を選択し 決定 を押します。

テレビを見る

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

通信関連

●通信関連

通信関連はLAN端子の接続をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。「通信関連」では下記の項目が表示できます。





必ずJATE認証をとったルーターを介してインターネットに接続してください。

●LAN設定

■IPアドレス設定

お買い上げ時は、自動設定を「する」に設定されています。既にお使いのネットワーク環境に本機を接続する場合、この設定のままご使用ください。
自動設定を「しない」にするときは、以下の説明をご覧の上設定してください。
※初期設定時にIPアドレスの設定は行いません。

① 「通信関連」の「LAN設定」を ▲▼ で選択し、決定 を押します。

② 「LAN設定」の内容が表示されます。まず ◀▶ で「IPアドレス設定」を選択し、決定 を押します。

③ IPアドレス設定画面が表示されます。「自動設定」の「する」を ◀▶ で選択し、決定 を押すと取得されたアドレスを確認することができます。



④ 「自動設定」の「しない」を ◀▶ で選択すると、アドレス部分が空白になります。▲▼ で項目を選択し[1]～[10]ボタンで数字入力をします。それぞれの数値はネットワークに合致するように入力します。



⑤ ▲▼ で「設定」を選択し 決定 を押すと「IPアドレスを設定しました。DNS設定を行ってください。」と表示されます。

⑥ 内容をそのまま設定する場合 決定 を押し、「IPアドレス画面」に戻ります。設定しない場合[戻る]ボタンを繰り返し押し、「メニュー」を消します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

通信関連

IP アドレス設定について
・本機に接続されたルーターのDHCP機能が「オン」のときは、IPアドレスの「自動設定」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
・ルーターのDHCP機能が「オフ」のときは、IPアドレスの「自動設定」を「しない」にして、手動で設定してください。
・手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定してください。また、設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
・設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認してください。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■DNS設定

● 通常は、このままの設定でお使いいただけます。設定が 必要なときのみ行ってください。
●お買い上げ時は、「しない」に設定されています。IPアドレス設定で自動設定を「しない」に設定すると、DNSの自動設定は 「する」を選べません。必要に応じてアドレスを設定してください。
●ご利用のインターネット接続プロバイダーによっては、DNSの設定が必要なものもあります。詳しくは、ご利用のインターネット接続プロバイダーの接続設定をご確認ください。
● DNSアドレスを設定するときは、以下の説明をご覧になって設定してください。

① 「LAN設定」を で選択し 決定 を押します。

② で「DNS設定」を選択し 決定 を押します。

③ 「DNS設定」画面が表示されます。「自動設定」の「する」を





④ 「自動設定」の「しない」を で選択すると、アドレス部分が空白になります。 で項目を選択し[1]～[10]ボタンで数字入力をします。それぞれのIPアドレスは、プロバイダーから案内されているものを入力します。



⑤ で「設定」を選択し 決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

⑥ 内容をそのまま設定する場合 決定 を押し、「IPアドレス画面」に戻ります。

設定しない場合は[戻る]を繰り返し押し、「メニュー」を消します。

DNS設定について
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能が「オン」のときは、DNSの「自動設定」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能が「オフ」のときは、DNSの「自動設定」を「しない」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定してください。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定してください。また、設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認してください。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■プロキシ設定

- ご利用のインターネット接続プロバイダーから指定があるときのみ設定してください。
- プロキシ設定は、インターネット接続時に代理サーバーを経由して接続するための設定です。
- DNSアドレスを設定するときは、以下の説明をご覧になって設定してください。
- この設定はHTTPに関する設定です。

① 「LAN設定」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

② ◀▶ で「プロキシ設定」を選択し 決定 を押します。



③ 「プロキシ設定」画面が表示されます。プロキシサーバーを個別に設定するには ◀▶ で「自動設定」の「する」を選択します。アドレス部分が空白になるので[1]～[10]ボタンで「プロキシサーバー」のURLを入力します。

- 入力する文字種を変更したときは、次に文字種を変更するまで、続けて同じ文字種が入力できます。
- [戻る]を押すと一文字ずつ消去できます。
- [黄]を押すと数字の文字種が入力できます。
- [赤]を押すと英記号の文字種が入力できます。



Button	The assigned character (It is rotated each time when it presses the key)
1	「.」→「/」→「:」→「-」→「 」→「_」
2	「a」→「b」→「c」→「A」→「B」→「C」
3	「d」→「e」→「f」→「D」→「E」→「F」
4	「g」→「h」→「i」→「G」→「H」→「I」
5	「j」→「k」→「l」→「J」→「K」
6	「m」→「n」→「o」→「M」→「N」→「O」
7	「p」→「q」→「r」→「s」→「P」→「Q」→「R」→「S」
8	「t」→「u」→「v」→「T」→「U」→「V」
9	「w」→「x」→「y」→「z」→「W」→「X」→「Y」→「Z」
0/10	「,」→「;」→「¥」→「#」→「*」→「@」→「~」→「'」→「"」→「?」→「!」→「(」→「)」→「&」

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

④ [1]〜[10]ボタンで「ポート番号」の数値を入力します。
[戻る]を押すと一文字ずつ消去できます。

⑤ で「設定」を選択し 決定 を押します。

⑥ 内容をそのまま設定する場合 決定 を押し、「IPアドレス」画面に戻ります。
設定しない場合「戻る」を繰り返し押し、「メニュー」を消します。

PPPoEの設定について
•本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)

●LANテスト

設定したネットワーク設定が正しく動作するか確認することができます。

① [メニュー]を押し「TV設定」から で「通信設定」を選択、続いて「LANテスト」を選択し 決定 を押します。

② で「実行」を選択し 決定 を押すと、接続テストが実行されます。



③ テスト終了後[戻る]を繰り返し押すと、「受信画面」に戻ります。

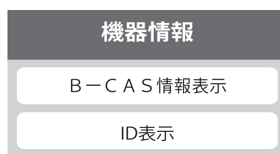
※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

機器情報

●機器情報

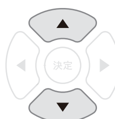
本製品に挿入されているB-CASカードの情報表示や、本製品のソフトウェア情報を確認することができます。

「機器情報」では下記の項目が表示できます。

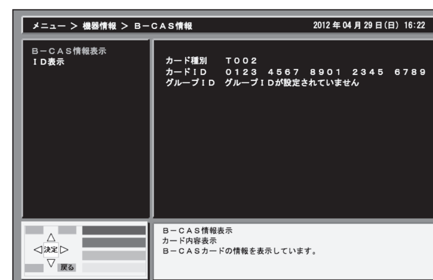


●B-CAS情報表示

本製品に挿入されているminiB-CASカードの情報を表示します。

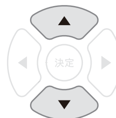
① 「情報機器」のサブ項目で、「B-CAS情報表示」を  で選択し（決定）を押します。

② 右側に「カード情報」、「カードID」、「グループID」が表示されます。
機器情報に戻る場合は（戻る）を押します。



●ID表示

本製品の内部ソフトウェア情報を表示します。

① 「情報機器」のサブ項目で、「ID表示」を  で選択し（決定）を押します。

② 右側に「ソフト名」、「リビジョン」が表示されます。
機器情報に戻る場合は（戻る）を押します。



メモ

・ソフト名とリビジョン番号は本製品に関するお問い合わせの際に、お客様にお聞きすることがあります。

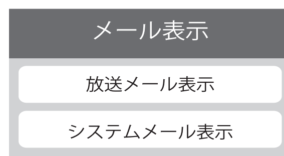
※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

メール表示

●メール表示

地上デジタル放送・BS/110度CSデジタル放送などの放送局からのお知らせメールや、本製品のアップデート等のお知らせが届いた場合にお客様にお知らせいたします。

「メール表示」には次の項目があります。

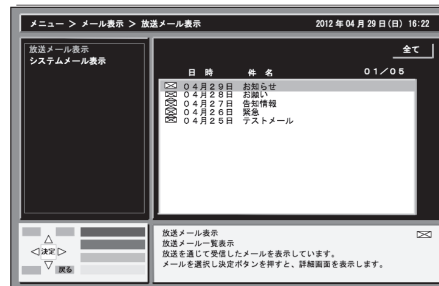


●放送メール表示

地上デジタル放送・BS/110度CSデジタル放送などの放送局から届いたメールを閲覧します。

① 「放送メール表示」を [決定] で選択し [決定] を押します。

② 右側に受信したメールの一覧が表示されます。メールをご覧になる場合は、閲覧するメールを [決定] で選択し [決定] を押します。



③ メールの内容が表示されます。リモコンの[青]・[赤]・[緑]・[黄]ボタンで次の操作ができます。

青ボタン・・・前のメールを表示します。　　緑ボタン・・・メール一覧画面に戻ります。

赤ボタン・・・次のメールを表示します。　　黄ボタン・・・閲覧したメールを削除します。

④ メール表示に戻る場合は 戻る◯ を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

テレビを見る

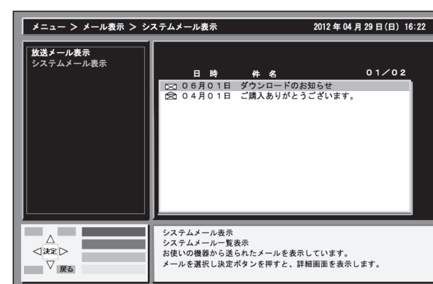
メール表示

●システムメール表示

受信信号を介して本製品のアップデートなどのシステムに関するメールをお届けすることがあります。

① 「システムメール表示」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

② 受信したメールの一覧が表示されます。閲覧するメールを ▲▼ で選択し 決定 を押します。



③ メールの内容が表示されます。リモコンの[青]･[赤]･[緑]･[黄]ボタンで次の操作ができます。

青ボタン･･･前のメールを表示します。	緑ボタン･･･メール一覧画面に戻ります。
赤ボタン･･･次のメールを表示します。	黄ボタン･･･閲覧したメールを削除します。

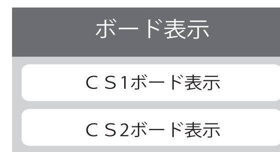
④ メール表示に戻る場合は 戻る ◯ を押す。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

ボード表示

●ボード表示

110度CSデジタル放送の掲示板（ボード）のタイトル一覧を表示して利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを閲覧できます。
「ボード表示」には次の項目があります。



■ CS1ボードを表示させるときは事前にCS1放送の受信に切り換えてから操作してください。

■ CS2ボードを表示させるときは事前にCS2放送の受信に切り換えてから操作してください。

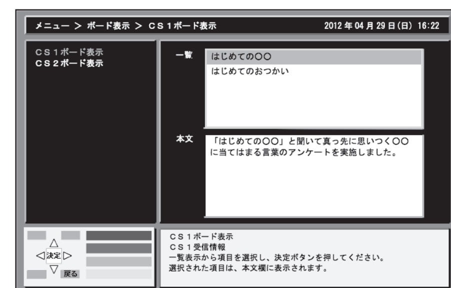
●CS1ボード表示

CS1に設定されている放送局から届いているお知らせを閲覧します。

① 「CS1ボード表示」を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

② お知らせの一覧と選択されている本文が表示されます。

閲覧するお知らせを ▲▼ で選択し 決定 を押します。



③ 選択したお知らせの本文が表示されます。

④ メール表示に戻る場合は 戻る を押します。

※CS2はCS1とメールの内容は異なりますが、操作方法は同じです。

テレビを見る

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

映像設定

●映像設定

「映像設定」では画面の色合いや明るさなどの設定を行います。

「映像設定」では下記の項目が設定できます。

映像設定

- 映像モード
- コントラスト
- 黒レベル
- 色あい
- 色の濃さ
- シャープネス
- 色温度

メモ

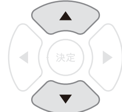
「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」は入力切換によって設定できる項目が異なります。
「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」の調整画面ではサブ項目に戻らなくても[▲▼ボタン]を押すことで各項目の調整を行うことができます。

●映像設定

ご覧になる映像に応じた4種類のプリセットと、お客様のお好みに調整できるユーザー設定があります。

① 「映像モード設定」を で選択し 決定 を押します。

② 右側に4種類の設定とユーザー設定が表示されます。


でお好みの設定を選択し 決定 を押します。





映像設定は各外部入力ごとに個別に設定できます。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

映像設定

●コントラスト

画面のコントラストを設定します。

① で「コントラスト」を選択します。

② 中央の欄にコントラスト値が表示されます。

③ で調節し、最後にカーソルを「設定」に合わせて 決定 を押します。

●黒レベル

画面の明るさを設定します。

① で「黒レベル」を選択します。

② で調節し、最後にカーソルを「設定」に合わせて 決定 を押します。

●色あい

画面の色あいを設定します。

① で「色あい」を選択します。

② で調節し、最後にカーソルを「設定」に合わせて 決定 を押します。

●色の濃さ

画面の色の濃さを設定します。

① で「色の濃さ」を選択します。

② で調節し、最後にカーソルを「設定」に合わせて 決定 を押します。

●シャープネス

画面のシャープ度合いを設定します。

① で「シャープネス」を選択します。

② 中央の欄にシャープネス値が表示されます。

③ で調節し、最後にカーソルを「設定」に合わせて 決定 を押します。

映像設定

●色温度

画面の色温度を設定します。

① [▲▼ボタン]で「色温度」を選択します。

② 中央の欄に設定値が表示されます。

③ [◀▶ボタン]で調節します。最後にカーソルを「設定」に合わせて 決定 を押します。

■色温度の設定値
NORMAL･･･標準の色温度です。
WARM･･･赤みがかった暖色です。
COOL･･･青みがかった寒色です。

音質設定

●音質設定

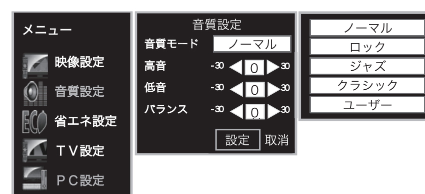
「音質設定」では音声の左右バランスや音質の調整を行います。

「音質設定」では下記の項目が設定できます。



●音質モード

ご覧になる映像に応じた4種類のプリセットと、お客様のお好みに調節できるユーザー設定があります。



① (▲▼) で「音質モード」を選択し (決定) を押します。

② 4種類のプリセットとユーザー設定が表示されます。
(▲▼) でお好みのプリセットを選択して (決定) を押します。

③ ユーザー設定では高音と低音の強さを個別に調節できます。

④ 前の項目に戻る場合は (戻る) を押します。

⑤ 最後にカーソルを「設定」に合わせて (決定) を押します。

●バランス

音声の左右バランスを調節します。

① (▲▼) で「バランス」を選択し (決定) を押します。

② (◀▶) で左右のバランスを調節します。

③ 最後にカーソルを「設定」に合わせて (決定) を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

テレビを見る

省エネ設定

●省エネ設定

「省エネ設定」では電源を自動的に切ったり、バックライトを暗くすることでエネルギーの消費を抑えます。

「省エネ設定」では下記の項目が設定できます。

省エネ設定
無信号時自動オフ
オフまでの時間
無操作時自動オフ
オフまでの時間
バックライト

●無信号時／無操作時自動オフ

信号やボタン操作が無いときに、設定した時間に電源を切ることができます。

① で項目を選択します。

② で入／切と時間を選択します。

③ 前の項目に戻る場合は 戻る ◯ を押します。

④ 最後にカーソルを「設定」に合わせて (決定) を押します。



●バックライト

LEDバックライトの明るさを調節します。暗くすると消費電力が下がります。

① で項目を選択します。

② で明るさを選択します。

③ 前の項目に戻る場合は 戻る ◯ を押します。

④ 最後にカーソルを「設定」に合わせて (決定) を押します。

メモ

・リモコンの「省エネボタン」を押すと同じ操作ができます。

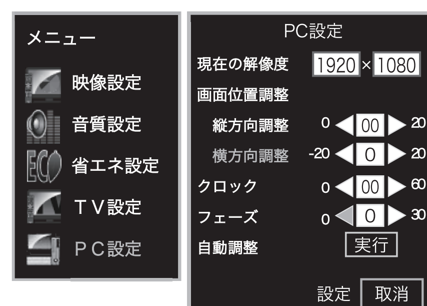
※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

PC設定

●PC設定

PC画面の設定をおこないます。

① 入力切換を「PC入力」にします。



② メニュー ◯ を押し、▲▼で「PC設定」を選択し 決定 を押します。



③ PC設定の画面が表示されます。

④ 現在の解像度が表示されます。

⑤ ▲▼で設定項目を選択します。

⚠
DVI-HDMI変換を行ってPC画面を表示している場合、「PC設定」は行えません。
最大解像度は1366×768です。ドットバイドットの表示はできません。
PCを接続しないとこの設定はできません。
入力解像度は1920×1080です。

■画面位置調整／縦方向調整

PC画面の上下の位置を設定します。

① ◀▶で垂直位置を調整し 決定 を押して決定します。

■画面位置調整／横方向調整

PC画面の左右の位置を設定します。

① ◀▶で水平位置を調整し 決定 を押します。

■クロック

PC画面の横幅を設定します。

① ◀▶で横幅を調整し 決定 を押します。

■フェーズ

PC画面の横方向の位置を微調整します。

① ◀▶で画面上の文字が明瞭に見えるように調整し 決定 を押します。

■自動調整

PC画面の解像度にあわせて自動で位置を調整します。

① ◀▶で「実行」を選択し 決定 を押します。

② 最後にカーソルを「設定」に合わせて 決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

電子番組表を使う

●電子番組表（EPG）とは

「電子番組表」とは地上デジタル・BS/110度CSデジタル放送などでテレビ画面に表示される番組表のことです。
デジタル放送の視聴中に[番組表ボタン]を押すと表示されます。
[番組内容ボタン]でも番組表を表示できます。

●電子番組表でできること

電子番組表を使用して本製品では下記のような操作ができます。

●基本操作

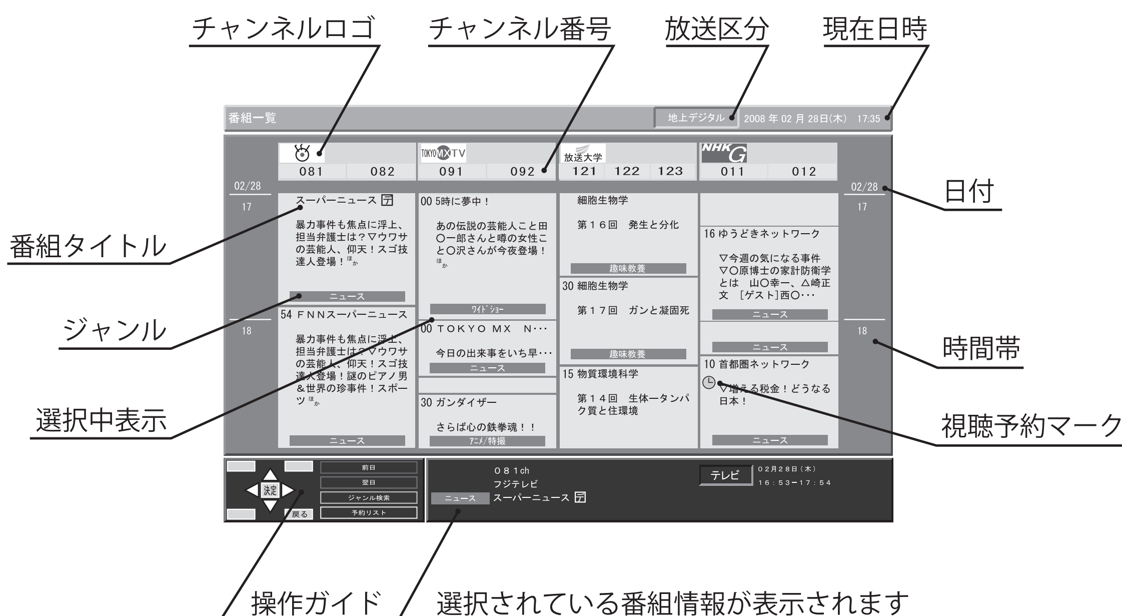
地上デジタル・BS/110度CSデジタル放送の視聴中にリモコンの[番組表ボタン]を押すと、視聴していた番組を含んだ番組表が表示されます。

●番組表を取得する方法

「番組情報がありません」と表示されているチャンネルを ◀▲▶▼ で選択し 決定 を押してください。数分で情報取得ができます。

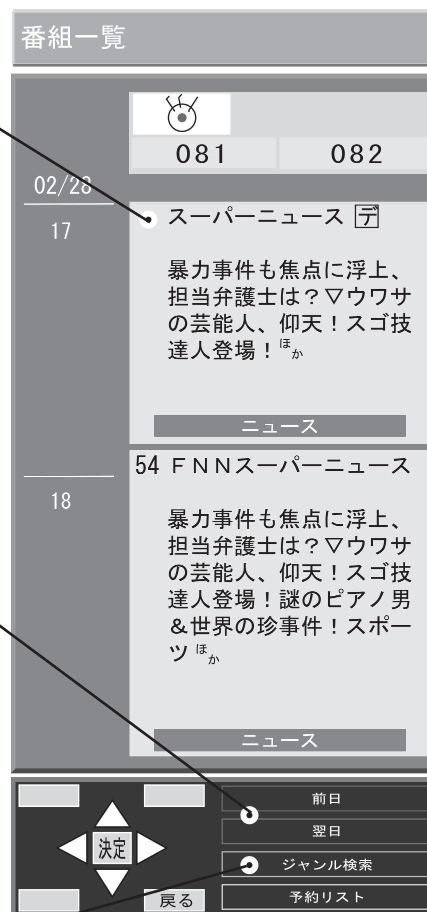
※電子番組表は地上デジタル・BS/110度CS専用のメニュー画面です。
※表示されている画面は記載のものとは多少、異なる場合があります。
※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

●電子番組表の表示



※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

電子番組表を使う



●番組表から番組を選ぶ

① リモコンの[番組表ボタン]を押し電子番組表を表示します。

② ご覧になりたい番組を ▲▼◀▶ で選択し 決定 を押します。

③ 選択した番組情報の画面に切り替わります。
視聴予約をする場合は[青ボタン]を押します。
→詳しくはP56「視聴予約をする」をご覧ください。

●翌日の番組表を見る

① リモコンの[番組表ボタン]を押して電子番組表を表示します。

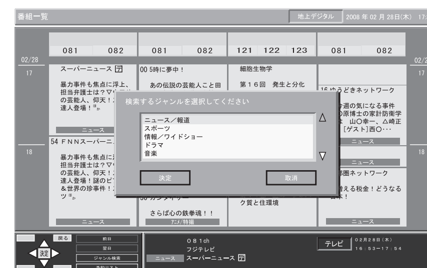
② [赤ボタン]を押すと翌日の番組表が表示されます。

③ 前日に戻る場合は[青ボタン]を押します。



放送時間が過ぎた番組は番組表から消去されます。

●ジャンル別に番組を探す



① リモコンの[番組表ボタン]を押して電子番組表を表示します。

② リモコンの[緑ボタン]を押して「ジャンル検索メニュー」を表示します。

③ ご覧になりたいジャンルを ▲▼ で選択し 決定 で決定し、
「決定」ボタンで決定します。

④ 選択したジャンルの一覧が表示されます。

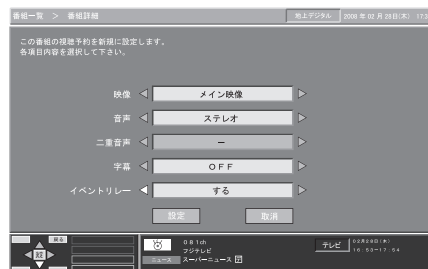
■ジャンル
ニュース／報道・スポーツ・情報／ワイドショー・ドラマ・音楽・バラエティ
映画・アニメ／特撮・ドキュメンタリー／教養・劇場／公演・趣味／教育・福祉・その他

テレビを見る

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

電子番組表を使う

●視聴予約をする



① リモコンの[番組表ボタン]を押し電子番組表を表示します。

② ご覧になりたい番組を▲▼◀▶で選択し 決定 を押します。

③ 選択した番組の詳細情報が表示されます。

④ [青ボタン]を押します。

⑤ 予約した番組の設定画面が表示されます。▲▼◀▶で各項目をお好みの設定に変更し 設定〇 を押します。

⑥ 最後にカーソルを「設定」に合わせて 設定〇 を押します。



・他の番組を視聴中に「視聴予約時間になりました」と表示され、予約番組に切り換ります。
・予約した番組の終了時刻になっても、電源は自動的には切れません。
・この機種には録画再生機能は搭載されておりません。

メモ

・映像
映像切換ができる番組のみ変更できます。

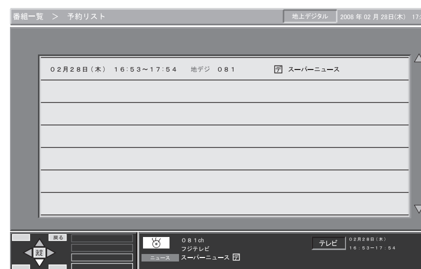
・音声
番組によりステレオ／モノラル／二重音声が表示されます。

・二重音声
音声が二重音声の場合のみ主音声／主＋副／副音声／から選択できます。

・字幕
字幕対応番組のみON／OFFを変更できます。

・イベントリレー
イベントリレーが発生した場合に対応するか設定します。

●予約リストを確認する



① リモコンの[番組表ボタン]を押して電子番組表を表示します。

② [黄ボタン]を押します。

③ 予約されている番組が開始時間が早い順に上から表示されます。▲▼で予約番組を選んで 決定 を押すことで、予約している番組内容を確認することができます。
※設定を変更することもできます。

④ 予約を削除する場合は、解除する番組を▲▼で選択し[赤ボタン]を押します。

⑤ 確認ウインドウが表示されるので、削除する場合は◀▶で「はい」を選択し 決定 を押します。

※ページ中の図は実際の画面と異なる場合があります。

テレビを見る

外部機器との接続

「外部機器との接続」の項目では再生機器やPC（パソコン）などとの接続方法をご案内いたします。

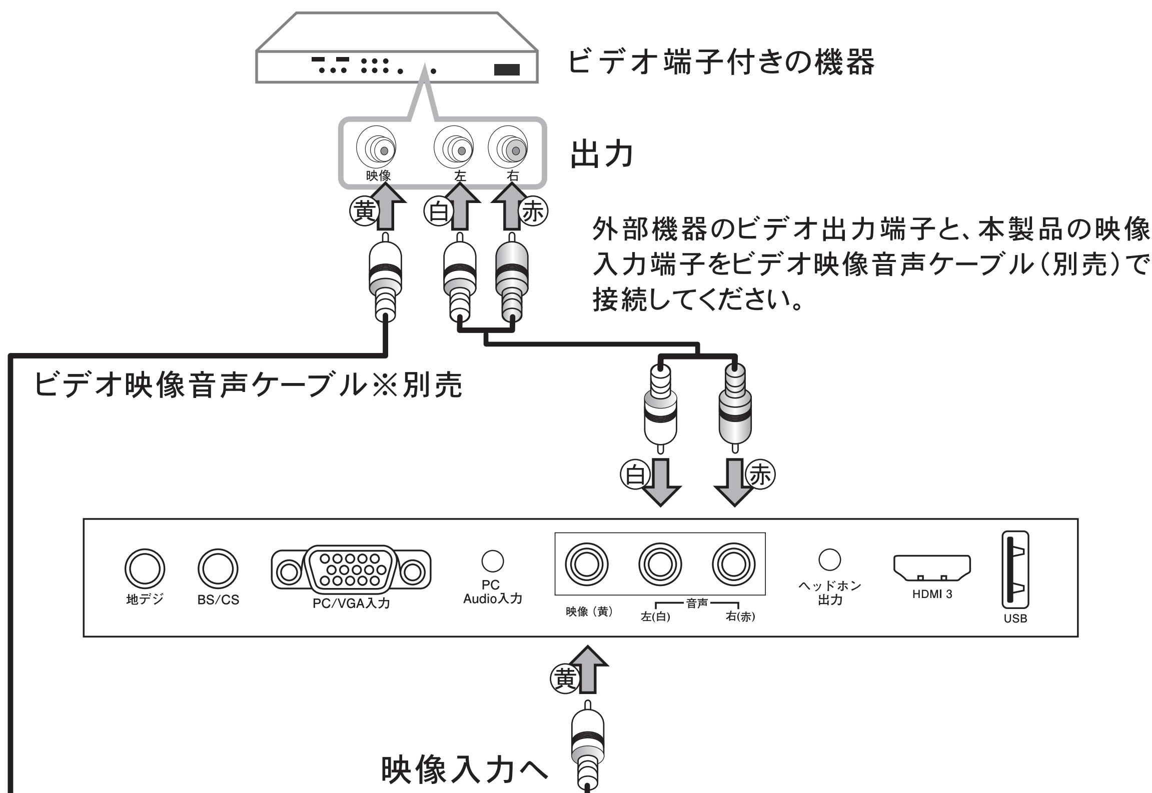


・ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
・ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
・接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧下さい。
・各外部入力は映像信号が入力されていない状態では音声が出力されません。予めご了承ください。

ビデオ映像出力のある機器との接続

● ビデオ映像出力のある機器の接続のしかた

ビデオデッキは機種によって正常に映像、音声が出ない場合がございます。



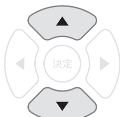
入力切換を行っても「信号なし」と表示される場合は、正常に接続ができていない可能性があります。
もう一度、外部機器との接続を確認してください。



・ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
・接続の際には同じ色のケーブルと端子を接続してください。
・ビデオ入力接続の際には他の映像ケーブルは取り外してください。
・ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
・接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧下さい。
・図は略図です。実際は異なることがあります。

● 入力したビデオ映像をご覧になるには

入力切換 ○ を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。

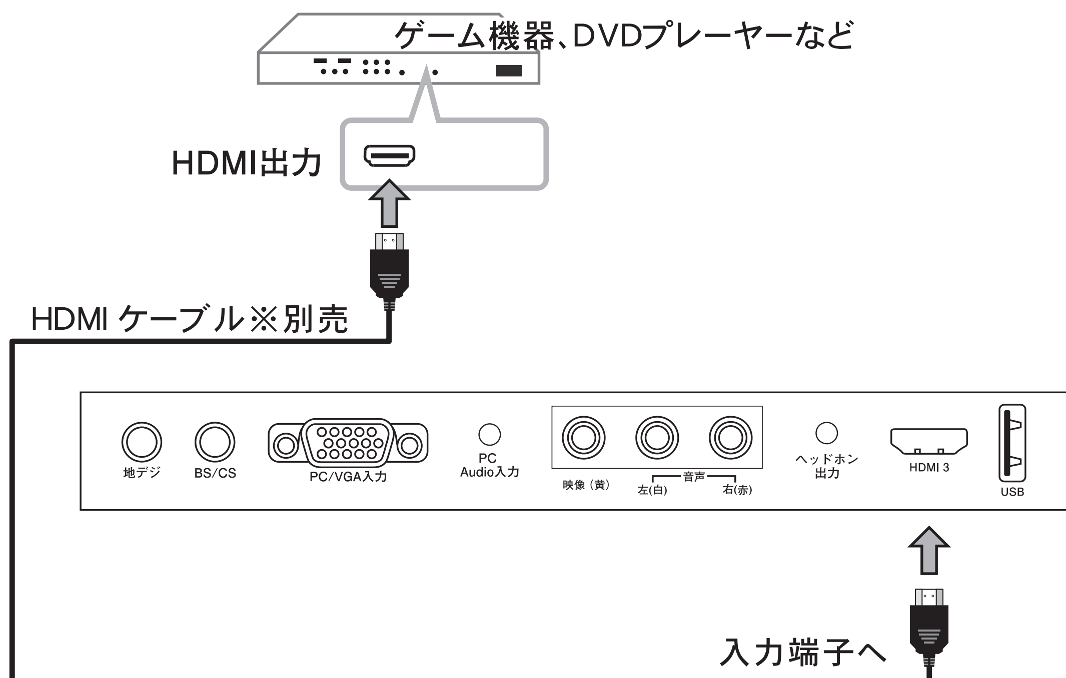

を使い、ビデオを選択し 決定 を押してください。

入力切換
地上デジタル
BS
CS1
CS2
ビデオ
HDMI 1
HDMI 2
HDMI 3
PC入力

HDMI出力のある機器の接続

● HDMI端子を使う場合

HDMI端子のあるDVDプレーヤーやブルーレイディスクプレーヤー、ケーブルTVや衛星放送のセットトップボックスなどを本製品に接続することができます。
HDMI ケーブルを1本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。



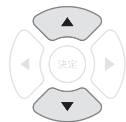
入力切換を行った後「信号がありません」と表示される場合があります。数秒後に「信号がありません」と表示される場合は、正常に接続ができていない可能性があります。もう一度、外部機器との接続を確認してください。



・ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
・HDMIの標準技術規格に対応した機器をお使い下さい。
・図は略図です。実際は異なることがあります。

● 入力した HDMI 映像をご覧になるには

入力切換 ○ を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。



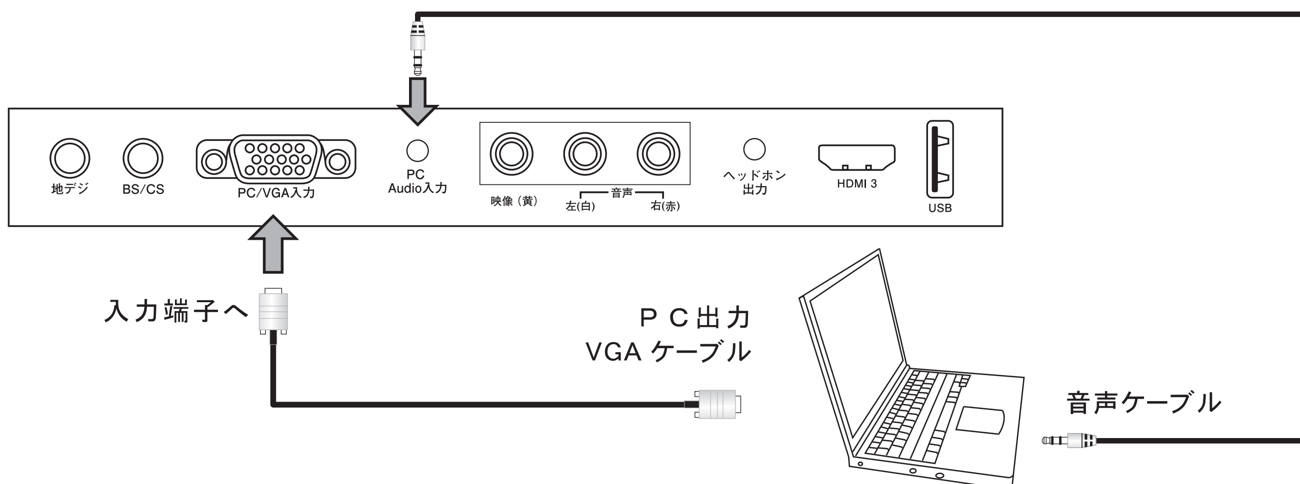
を使い、HDMI を選択し 決定 を押してください。

入力切換
地上デジタル
BS
CS1
CS2
ビデオ
HDMI 1
HDMI 2
HDMI 3
PC入力

PC（パソコン）の接続

● PC（パソコン）の接続の仕方

本機はPC（パソコン）モニターとして使うことができます。



PC（パソコン）のRGB端子と本製品の背面VGA入力（RGB）端子を、アナログRGBケーブル（別売）で接続してください。次にパソコンの音声出力端子と本製品の背面接続パネルの音声入力端子を別売のパソコン用音声ケーブルで接続してください。（3.5mm、ステレオ）

対応している解像度は以下の通りです。下記以外の解像度には対応しておりませんのでご了承ください。

解像度(ピクセル)		リフレッシュレート（Hz）
SVGA	800x600	60
XGA	1024x768	60
WXGA	1280x720	60
(16:9)	1366x768	60
(16:9)	1920x1080	60

※タテヨコ比が異なって表示される場合があります。
※一部メーカーのグラフィックボードでは対応出来ないことがあります。ご了承ください。
※ドットバイドットの表示には対応しておりません。



・音量の調整はPC側でも行ってください。
・接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
・接続時にはPCの取扱説明書もあわせてご覧下さい。

● 入力したPCをご覧になるには

入力切換 ○ を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。

▲▼ を使い、PC入力を選択して 決定 を押してください。

入力切換
地上デジタル
BS
CS1
CS2
ビデオ
HDMI 1
HDMI 2
HDMI 3
PC入力

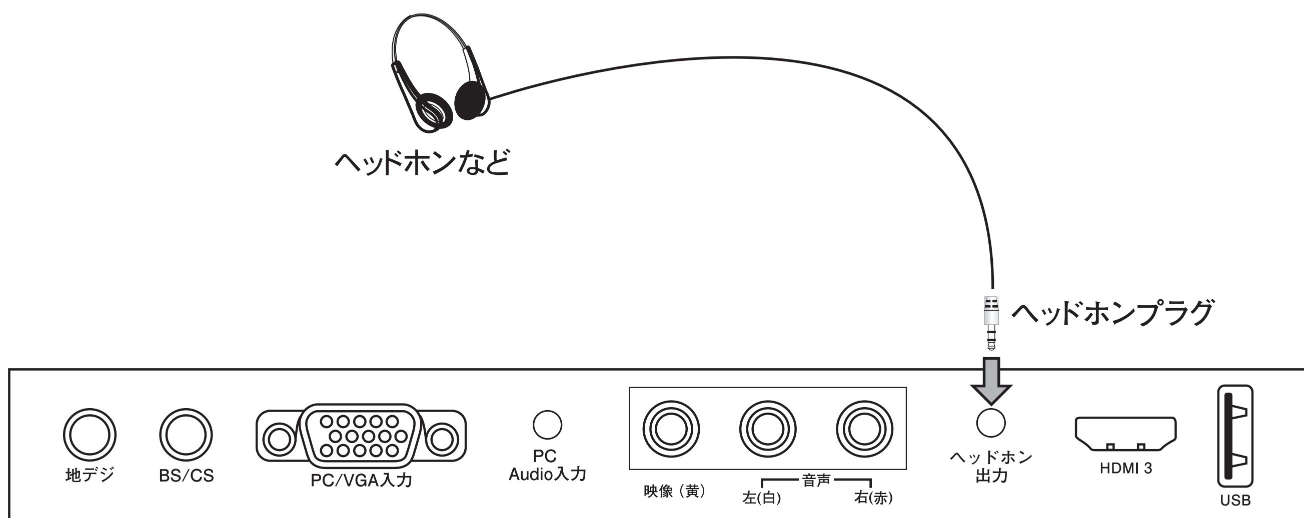
外部機器との接続

ヘッドホンなどの接続

● ヘッドホンなどの接続のしかた

◆ 市販のヘッドホンを背面のヘッドホン出力端子に接続すると、ヘッドホンで聞くことができます。ヘッドホンを接続すると、本体のスピーカーからは音声が出なくなります。

◆ ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大音量で長時間聞き続けると聴力に悪い影響を与えることがあります。適切な音量でご使用ください。





・ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
・ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧下さい。
・図は略図です。実際は異なることがあります。

外部機器との接続

その他

「その他」の項目では、本製品のご使用に関する各種情報をご案内します。

故障かな?･･･ と思ったら

故障かな？…と思ったらこの項目の症状をチェックしてください。操作ミスや設定ミスの可能性もあります。また、本製品以外の製品が原因の可能性もあります。プレーヤーなど、共に使用している機器の取扱説明書もご覧ください。各項目をご確認頂き、正常に動作しない場合はお買い上げの販売店またはサービス/コールセンター（0570-550-520）までお問い合わせください。また、ご相談の際は本製品の型番、症状を詳しくお聞かせください。

症 状	原因/対処
電源が入らない。 電源がときどき切れる。 画面が映らない。	●電源コードが正しく接続されているか確認してください。 ●アンテナ線がきちんと接続されているか確認してください。
外部機器の映像や音声が出ない。	●接続が正しくされているか確認してください。 ●外部機器の電源が入っているか確認してください。 ●リモコンの入力切換ボタンを押し、入力信号が合っているか確認してください。
映像にブロックノイズや雑音が多い。	●アンテナ接続ケーブルは他のケーブルやコード類から極力遠ざけてください。 ●フィーダー線や室内アンテナは電波障害を受けやすいのでお買い求めの販売店や取り付け業者にご相談ください。
画面に黒い（点灯しない）点、または光る点（輝点）が見える。	●液晶は微細な画素の集合です。画面の一部に画素の欠け（ドット抜け）や輝点が存在する場合がありますが故障ではありません。
画面に斑点状や縦縞、横縞、網目状のノイズが発生する。	●本製品の近くに別のテレビやコードレス電話、ドライヤーなど、他の電化製品がある場合、それらの電波により画面が乱れることがあります。その場合、本製品により近い電化製品の電源を切ってください。 ●自動車やバイク等からの電波干渉を受けている可能性があります。本製品をなるべく道路側から離してください。
チャンネルを切り換えたときにノイズが出る。	●デジタルハイビジョン信号や標準テレビ信号など、映像の解像度が変化する際に白い線などのノイズが発生することがあります。これは製品内部で信号の同期を取るために起こるもので、故障ではありません。

故障かな?・・・ と思ったら

症 状	原因/対処
電源が突然切れた。 いつの間にか消えていた。	● オフタイマーを設定していないか確認してください。
電子番組表の番組欄に<データがありません>と表示される。	●番組表情報のダウンロードには多少の時間がかかります。（電波状況によりかかる時間は異なります。）しばらくお待ちください。
番組表から録画ができない。	● 本製品には録画する機能はありません。
字幕や文字スーパー表示されない。	●「地デジ設定メニュー」の「機器設定」の「字幕・文字スーパー」を設定してください。
① 画面に「miniB-CASカードを正しくセットしてください」というメッセージが表示される。 ② 画面に「miniB-CASカードを確認してください」というメッセージが表示される。 ③ miniB-CASカードを紛失、破損してしまった。miniB-CASカードが正常に本体にセットされているのminiB-CASカードテストでエラーが出る	● miniB-CASカードが本体にセットされていないか、もしくは奥まで入っていない可能性があります。 ● miniB－CASカードの向きが間違って装着されている可能性があります。正しく装着してください。正しくセットしても直らない場合はB－CASカスタマーセンター（TEL:0570-000-250）へお問い合わせください。 ● miniB－CASカードに関するお問い合わせはB－CASカスタマーセンター（TEL:0570-000-250）へお問い合わせください。
同じ放送局内の異なるチャンネルが選択できない。	● 地上デジタル放送では1つの放送局から複数の番組が提供されている場合があります。 時間帯によっては放送していないこともありますので、まずは視聴する放送局の番組情報を確認してください。 複数の番組が放送されている場合は、リモコンのチャンネルボタンでチャンネルを切り換えてください。 ※数字ボタンは代表チャンネルの切り換えにのみ対応しています。
リモコンが反応しない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の＋/−を確認してください。 ● リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて近くで操作してみてください。 ● リモコン受光部に蛍光灯などの強い明かりが当たっているときは、リモコンがうまく反応しないときがあります。その場合はリモコン受光部に強い光が当たらないようにしてください。 ● 近くに電子レンジがある場合リモコンがうまく反応しないことがあります。 ● リモコンのセンサーを携帯電話等のカメラで撮影して、光っていればリモコンは正常です。
音声が出ない。	● 音量が0になっていないか確認してください。 ● 接続した外部機器の音量が0になっていないか確認してください。 ● 接続が正しいか確認してください。 ● 消音になっていないか確認してください。

故障かな?・・・ と思ったら

症 状	原因/対処
①ブロックノイズ（※モザイク状のノイズ）が出る。 ②地上デジタル放送が映らない。 ③映像が動かず、リモコンが反応しない。	● デジタル放送は電波受信状況により①②③のような症状が発生します。その場合は下記項目を確認してください。 - 電源ボタンを切ってから、アンテナ接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。 - マンションにお住まいの方は地上デジタル放送が受信されているかマンション管理者にお問い合わせください。 - アンテナの位置、角度、方向を調節してみてください。 - 弱電界（電波が弱すぎる）の可能性があります。アンテナの状態をお確かめください。 - ブースターのレベルを上げすぎると電波が受信できなくなることがあります。 - miniB－ＣＡＳカードが正しく挿入されているかご確認ください。 - チャンネル設定ができているかご確認ください。 - ケーブルテレビの場合は、設定がケーブルテレビ会社により異なります。各ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。 - 本製品の近くでほかの電化製品（電子レンジ、携帯電話など）を作動させると映像や画像が乱れることがあります。 - 「地デジ設定メニュー」の「チャンネル追加設定」からチャンネルスキャンをもう一度おこなってください。 - 集中豪雨のときなど、著しく悪天候の場合も電波状況が悪くなり①②③のような症状が発生することがあります。天候が回復するまでお待ちください。
電源を入れたときにピッという音がする。	● 電源を入れた際に、内部の回路が働くために音がしますが、故障ではありません。
設定メニュー画面が突然消えてしまった。	● 設定メニュー画面は無操作状態で約5分が経過すると自動的に消えるようになっています。再度設定メニューボタンを押し、設定メニュー画面を表示させてください。
スタンバイ状態でカチッという音が本体内部から聞こえる。	● デジタル放送からデータの取得をするため本体内部の回路の電源が自動的に入るため音がすることがあります。故障ではありません。
本体からピシッというきしむ音がする。	● 周囲との温度差により本体カバーが伸縮し、ピシッという音が出ることがありますが本製品には影響ありません。
パソコンの画像が出ない。	● 接続するパソコンの種類によっては、画像が表示されない場合があります。 パソコンの画面設定を変更してください。 パソコンの設定方法については、各パソコンの取扱説明書をご覧ください。
ビデオやDVDの再生時に縦縞のノイズが出る。	● ビデオデッキやDVDプレーヤーと接続している場合、本製品との距離が近すぎるため干渉している可能性があります。ビデオデッキやDVDプレーヤーと本製品の距離を離してください。

故障かな?・・・ と思ったら

症 状	原因/対処
ビデオ等の再生時に画像が乱れ画面に映らなくなる。	● 映像信号変換機能の付いた外部機器(AVアンプ等)を本製品に接続した場合、映像信号の状態によっては映像が乱れたり、映らないことがあります。
画像は出るが音が出ない。	● 本製品、または再生させている機器の音量が0になっていないか、または消音状態になっていないか確認してください。 ● 音声端子が適切に接続されているか確認してください。 ● パソコンと接続している場合はパソコン側の音量も調整してください。
接続した機器の映像が出ない。	● 接続コードを正しくつないでください。 ● コードが適切な場所に正しく接続されているか確認してください。 ● リモコンの入力切換ボタンを押して適切な入力信号に切り換えてください。
LANの接続テストでエラーが発生する。	● LAN設定の中のIPアドレス設定で「自動設定」を「する」にして再設定してください。
データ放送の動きが遅い。	● 放送局の違い、番組内容の違いによってデータ量が異なり、次の画面がすぐに出たり時間がかかったりします。 「データ受信中」、「データ処理中」の文字が画面の右下に出ている時は、これらの表示が消えてから次の操作をしてください。

緊急警報放送について

● 警戒警報や津波警報などが発令された場合に放送されることがあります。
緊急放送をご覧になるには画面に表示されるアナウンスにしたがって操作をおこなってください。

緊急放送が開始されました「決定」でチャンネルが切り換わります。

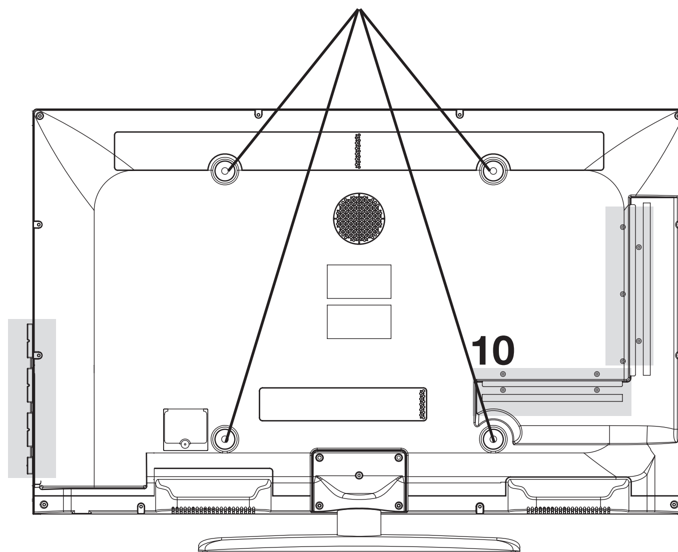
本製品に挿入されているminiB-CASカードが正常に機能しているかテストを行います。

壁掛けについて

本製品は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。
- 専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。
- 壁掛け金具は、VESA規格M6、400×400mmに準拠しているものをお使いください。

壁掛け金具取り付け用ネジ穴



本体背面



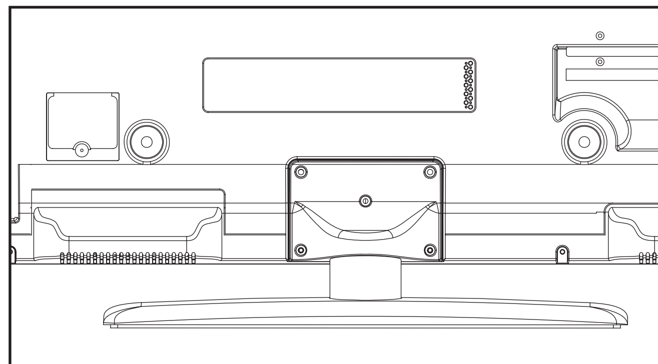
・6㎜以上の長さのネジは絶対に使わないでください。テレビを破損させてしまいます。

その他

●スタンドの外し方

1 ドライバーでネジを取って下さい。

2 テレビの本体からスタンドを外して下さい。





・液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
・外したネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

製品仕様

CD-LED4031



受信チャンネル	地上デジタル	1~62ch AIR; C13~C63ch CATV
	衛星放送	BS/CS1/CS2
液晶パネル	パネル種類	LED
	画面サイズ(H)×(V)	701.5mmx392.3mm
	アスペクト比	16:9
	画素数	1920x1080
	輝度(cd/㎡)	450cd
	コントラスト比	3000:1
	視野角(H)×(V)	178×178
入出力端子	アンテナ入力	2系統：地上デジタル/BS・CS
	AV入力	RCAピン1系統
	PC入力	D-sub 15pin×1
	PC音声入力	ステレオミニジャック×1
	ＨＤＭＩ	3系統
	B-CASスロット	1系統（mini B-Cas）
	Ethernet	データ通信用×1
	ヘッドホン出力	3.5mm　ステレオミニジャック×1
	スピーカー	7w×7w
	USB端子	ファームアップ用×1
電源	使用電源	AC100V　　50/60Hz
	定格消費電力	89W
	待機電力	0.3W
サイズ(mm) 幅×奥行× 高さ×重さ	本体	973×230×663×13kg
	梱包時	1090×160×730×15kg
付加機能	CATVパススルー：○	字幕放送：○
	データ放送：○	双方向サービス：○
	電子番組表：○	

その他

MEMO

MEMO

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

◆ 保証書・保証期間について

・この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

◆修理を依頼される場合の必要事項

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

［保証期間中の場合］
保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。下記のサービス/コールセンターにご連絡ください。

［保証期間を過ぎている場合］
お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。
故障／修理のお問い合わせは下記のサービス/コールセンターまでお願いいたします。

その他確認事項

・お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
・お買い上げ年月日・販売店名
・モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です）
・故障または異常の具体的内容

■お客様サービス/コールセンター
TEL:0570-550-520